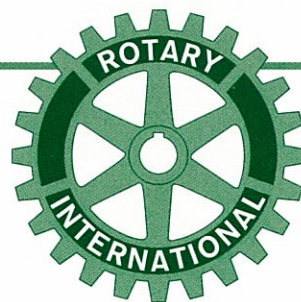


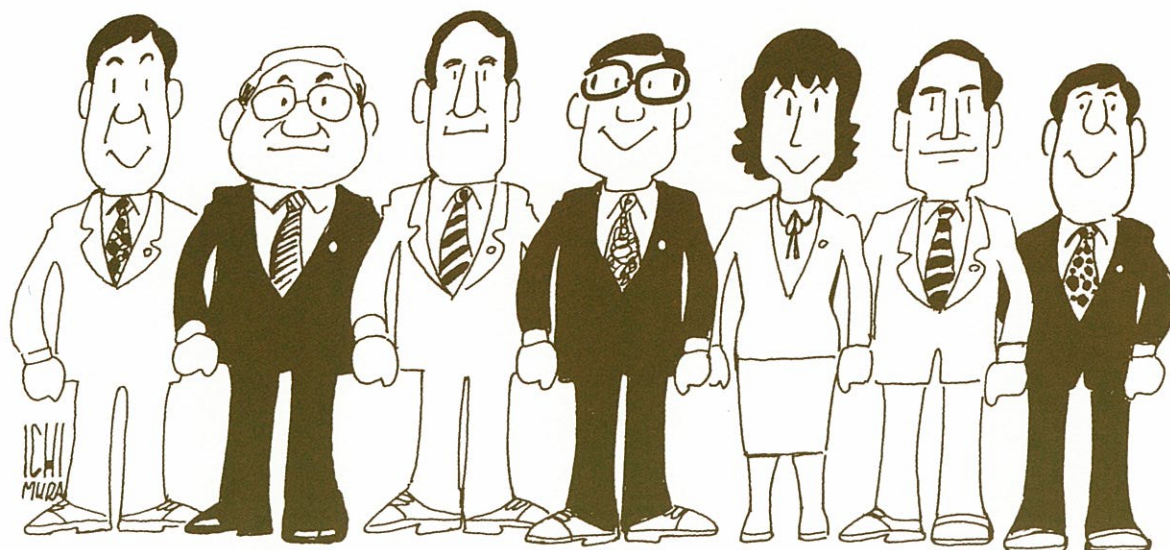
・・・今さら人に聞けない・・・

ロータリー情報 マニュアル

ロータリアン必携



改訂版



ロータリー情報マニュアル

CONTENTS

ロータリーとは	1
ロータリーの組織機構	2
ロータリーの目的(綱領)	2
ロータリー哲学と4人の創始者	3
ロータリーの標語	4
日本のロータリーの歩み	4
四大奉仕部門	5
職業分類の原則	6
出席の免除	6
国際ロータリー (RI)	7
地 区	8

ロータリークラブ	9
地区リーダーシップ・プラン (DLP)	10
クラブ・リーダーシップ・プラン (CLP)	12
クラブの委員会とその主な活動	13~16
例会／出席	16
ロータリー財団	17~19
財ロータリー米山記念奨学会	20~22
ロータリー情報・附録	23~27
ロータリー用語	28~35
ロータリー知識クイズ50	36~38

ロータリーの綱領

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹、育成することにある。

- 第1. 奉仕の機会として知り合いを広めること。
- 第2. 事業および専門職務の道徳的水準を高めること。あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること。そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位あらしめること。
- 第3. ロータリアンすべてが、その個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること。
- 第4. 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

THE FOUR-WAY TEST

of the things we think, say or do

1. Is it the TRUTH?
2. Is it FAIR to all concerned?
3. Will it build GOODWILL and BETTER FRIENDSHIPS?
4. Will it be BENEFICIAL to all concerned?

ロータリーとは

会員組織を通じて奉仕する

ロータリーは奉仕に邁進します。ロータリークラブに所属することは、人々に、各自の地域社会に寄与するための組織的な奉仕の機会を提供します。

■1905年に創始されたロータリーは、世界で最初の奉仕団体で、そのモットーは「超我の奉仕」です。ロータリーは、真実、公平、友人間の親交、そして世界平和に関心を寄せています。ロータリーの奉仕部門はクラブ活動を通じて地域社会と国際的ボランティア奉仕とあらゆる職業における倫理の増進を含んでいます。

■ロータリーは、200カ国を超える国々に散在する3万2千人以上のクラブと約122万4千人の会員の横の繋がりで

■ロータリーの会員は週に一度会合し、奉仕活動を計画します。ロータリークラブは自治を重んじた組織です。地元のニーズや関心、また会員の力量に基づき単独で奉仕プロジェクトを決めることができます。

■ロータリークラブは、宗教的、政治的色調のない組織で、人種、文化、信条の別なく、全ての人たちに開かれています。クラブの会員組織は地元の事業および専門職務のリーダーの横断面を示すものです。

奉仕 …ロータリーは国際的奉仕団体です。ロータリーの会員は、各自の地域社会で、また世界の各地で、他の人々を助けようと自発的に時間と援助資源を傾注して奉仕する事業と専門職務のリーダーです。



革新 …ニーズがあれば何処でも、ロータリーはそれに応じて活動します。



非政治的な民間の奉仕活動を基調とする自治組織であるロータリークラブは、地域社会のニーズに革新的な方法で応えます。

支援 …ロータリーの会員は、その時間、技能、専門知識、他の様々な資源を、人間の生活の質の向上に捧げます。



交換 …ロータリーは、文化の理解を推進し、たとえ別な世界で暮らすようなときでも人々をひとつに結び合わせます。ロータリーの交換プログラムは、国境を越えた、アイデアと自由な交流の機会を促すものです。



予防接種 …ポリオの撲滅は、全世界の5歳以下の幼児全員に予防接種を施すことを目指すロータリーの最優先的事項の一つです。



ロータリーの組織機構

ロータリーは、本質的に草の根的な組織であり、その奉仕活動のほとんどがクラブ・レベルにおいて実施されています。地区および国際的な組織機構は、クラブを支援し、それぞれの地元地域をはじめ海外においてクラブがさらに奉仕を提供する援助にあたります。

ク ラ ブ

ロータリアンは、ロータリークラブの会員であり、クラブは国際ロータリーの世界的連合体に加盟しています。各クラブは、それぞれ独自に役員を選び、ロータリーの定款・細則の枠内においてかなりの自治権を行使することができます。

地 区

クラブは532のR I 地区に分けられ、R I 役員である地区ガバナーが各地区を統轄します。そして、ガバナー補佐や各種委員会を含む地区管理機構がクラブを指導、支援します。

R I 理事会

19名のメンバーからなるR I 理事会は、R I 会長と会長エレクトを含み、方針を設定するために四半期ごとに会合を開きます。毎年選ばれる国際ロータリー会長は、その年度のテーマおよび強調事項を提示するのが伝統となっています。

事 務 局

国際ロータリーは、米国イリノイ州シカゴの郊外にあるエバンストンに本部を置き、アルゼンチン、オーストラリア、ブラジル、インド、日本、韓国、スイスに7つの国際事務局があります。イギリスのグレート・ブリテンおよびアイルランド内国際ロータリー(RIBI)事務局は、同地域のクラブおよび地区に奉仕業務を行っています。事務局の最高執行責任者はR I 事務総長で、世界中のロータリアンに支援業務を提供している650人の職員を率いています。

ロータリーの目的(綱領)

ロータリーの目的は、価値ある企業活動の基礎として**奉仕の理念**を奨励し育成すること。詳しくは、次の事項を奨励し育成することである。

1. 奉仕の機会を得るときには、交友関係を発展させること。
2. 社会に奉仕する機会を得るときには、企業と専門職が有する高い倫理基準を保ち、(奉仕に) 役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、そして、ロータリアン各自の職業を尊厳あるものにする。
3. ロータリアンの一人一人が、個人として、職業人として、地域社会の一員として、(自らの意志で) 奉仕の理念に専心すること。

4. 奉仕の理念に結ばれた実業家と専門家の世界的な団体を通して、国際理解・親善・平和を促進すること。
(出典：東大阪みどりRC)

奉仕理念とは

ロータリアンが好んで口にする言葉のひとつに「奉仕の理想」があります。英語では Ideal of Service となっていますが、日本のロータリーの創始者、米山梅吉氏がこれを「奉仕の理想」と翻訳し、そのまま今日に至っています。

Ideal of Service（奉仕の理想）は現代語で翻訳すれば、「奉仕理念」ということになります。ロータリーの綱領や重要なロータリーの文献にもこの「奉仕の理想（理念）」が頻繁に使用されており、日本では同名のロータリーソングとしても馴染みの言葉となっています。

ロータリー哲学と4人の創始者

ロータリーの奉仕哲学の基礎は、ほとんどがロータリーの形成期といえる1910年から1922年のシカゴロータリークラブの組織の礎石に刻み込まれたものです。この時代、人々はロータリー理念を鼓吹され、福音を伝える伝導心として燃えた人々です。

その中で、この四人なくして今日のロータリーはなかった、と言っても過言ではありません。

●ポール P.ハリス (Paul P. Harris)

ロータリーに生命を与えた創設者。

●アーサー・フレデリック・シェルドン (Arthur Frederick Sheldon)

ロータリーのサービス理念の発想・綱領・定款・規定の基盤など、人間社会の普遍の真理「サービス理念」を盛り込む。

●アーチ C. クランフ (Arch C. Klumph)

ロータリー財団の財政基盤の発展を提案。国際理解と友好・平和を掲げ、人道的プログラムを実現。

●チェスリー R.ペリー (Chesly R. Perry)

ロータリーの組織をアメリカから国際ロータリーへとハードの形成に力を注ぎ、まさにロータリーの力を数百のクラブと数千人の会員を抱える国際組織に発展させた。

しかし、孤独な男達の発想が、標準化されることの方針も必ずしも誠心誠意の賛同を得られませんでした。国際大会・クラブなど、自立を好む紆余曲折の進化を遂げながら骨組みが形成されてきました。

ロータリーの標語

二つの公式標語

各クラブの認証状の上部に国際ロータリーが公式に採用した2大標語が記されています。

「超我の奉仕」 第1標語

Service Above Self

自己のために利益を得ようとする欲望と、他人に奉仕しようとする義務感と、それに伴う衝動から起こる心の争いを和解させようとするロータリーの根本的な理想を効果的に表現しているものとしてよく用いられます。

ポートランドで開催された第2回大会で、ミネアポリスのB・フランク・コリンズは他人のために尽くす意義と重要性を説き、RCは“Service, Not Self”を根本精神としなければならないと強調しました。

その後この標語は“Service Above Self”と修正、1950年ロータリーのモットーとして公式に採用され1989年規定審議会によりロータリーの第1標語に指定されました。

「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」 第2標語

He profits most who serves best.

奉仕は報酬の基本であるという根本的な真理と理想を教えたもので、1910年のシカゴ大会でA.F. シェルドンによって全米連合の晩餐会の席で道義心のある実業人を「自分の仲間に最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」と唱えられ、少し文言を替えて述べました。ロータリーにとって歴史に重要な声名や文書を保存することを認められました。

日本のロータリーの歩み

日本で最初のロータリークラブ(RC)は、1920(大正9)年10月20日に創立された東京RCで、翌1921年4月1日に世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟承認されました。

日本でのロータリークラブ設立については、創始者ポール・ハリスの右腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長のチェスリー・ペリーと、創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の功を忘れることができません。日本のロータリーは、第2次世界大戦の波に洗われて、1940年に国際ロータリーから脱退。戦後1949年3月になって、復帰加盟します。その後の日本におけるロータリーの拡大発展には目覚ましいものがあります。ロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになりました。

日本は、現在34地区に分かれており、クラブ数は約2,300を超え、会員数も10万명에達しようとしています。



日本のロータリーの創始者
米山 梅吉

四大奉仕部門

ロータリーの四大奉仕部門は、本ロータリー・クラブの業務の哲学的小および实际的な基準です。



クラブ奉仕 Club Service



奉仕の第一部門であるクラブ奉仕は、本クラブの機能を充実させるために、クラブ内で会員が取るべき行動である。

職業奉仕 Vocational Service



奉仕の第二部門である職業奉仕は、事業および専門職務の道德的水準を高め、あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理想を生かしていくという目的を持つ。会員の役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うことが含まれる。

社会奉仕 Community Service



奉仕の第三部門である社会奉仕は、クラブの所在地域または行政区域内に居住する人々の生活の質を向上させるために、時には、他の人々と提携してロータリアンが行うさまざまな活動から成る。

国際奉仕 International Service



奉仕の第四部門である国際奉仕は、国際理解、親善、平和を推進するために、会員が行う活動から成る。このような推進は、読書や文通、さらには、他国の人々を助けるクラブのあらゆる活動やプロジェクトに協力することを通じて、他国の人々とその文化、慣習、業績、願望、問題に対する認識を培うことによって行われる。

ロータリーの綱領の条文は四大奉仕と対比したものではなく、似て非なるものなのです。

職業奉仕は綱領の定義に加えて、ロータリアン個人がロータリーの奉仕理念に従って事業を営むことが規定されています。とかく疑義のあった「クラブが行う職業奉仕の実践」が除外されたことは大きな進歩です。

社会奉仕は狭義のコミュニティにおける人道的奉仕活動が、国際奉仕は綱領の定義に加えて広義のコミュニティにおける人道的奉仕活動が規定され、現実の奉仕活動に対応したものとなっています。

職業分類の原則

ロータリークラブが職業分類別会員組織であるという原則は、ポール・ハリスらロータリー創設者達が確立したもので、ロータリークラブの基本の一つです。

会員の資格は、「職業分類」を基礎にしています。会員の事業または専門職務に従って職業分類されます。地元地域社会の、一般に認められたあらゆる事業、専門職務の代表者を会員に迎えるようにということです。

正会員の職業分類はクラブから借りたものです。従って、正会員の資格を失った時には、クラブに返されます。

各クラブでは、事業または専門職業が少数に偏らない均衡のとれた会員身分を有する会員構成にします。5名またはそれ以上の正会員がいる職業分類からは、正会員を選出してはいけません。但し、会員数が51名以上のクラブの場合は、10%を超えない限り、その職業分類の下に正会員を選出することができます。

正会員の10%を超えていても、ロータリー財団学友を正会員に、また、地域社会の奉仕活動に参加している人も入会可能となりました。つまり事業上の裁量権のない一般市民でも社会奉仕活動をしていれば良いということが、最近追加されました。

出席の免除

次の場合は出席規定の適用は免除されます。

- 理事会の承認する条件と事情による欠席の場合。理事会は、正当かつ十分な理由による会員の欠席を認める権限を持ちます。
- 一つまたはいくつかのロータリークラブのロータリー歴と会員の年齢の合計が85年以上であり、さらに出席規定の適用を免除されたい希望を、書面をもってクラブ幹事に通告し、理事会が承認した場合。
- 会員が現役のR1役員である場合。



国際ロータリー (RI)

本部は米国イリノイ州エバンストン。

国際大会

毎年1回、RI理事会の決定する時と場所において、4～6月頃（会計年度の最後の3ヵ月中）開かれる世界中のロータリアンの集いです。会員なら誰でも参加できます。

国際大会の主たる目的は、国際レベルにおいて、全ロータリアン、次期クラブ会長、国際ロータリーおよびロータリークラブの次期役員を鼓舞、激励し情報を与えて、地区レベルおよびクラブレベルにおけるロータリーの発展を活発に推進しようとする意欲を起こさせようとするものです。

また、国際的連合体の年1度の会合であり、連合体の業務を執り行います。そして、ロータリー家族の世界的会合でもあり、国際大会の本来の目的を減じない範囲で、社交および余興番組でロータリーの親睦を祝います。

理事会

定員は19名。RIの会長、会長エレクトも理事であり、会長は理事会の議長を務めます。17名の理事は細則の規定に従って指名され選挙されます。（任期は2年間）

規定審議会

国際ロータリーの立法機関を成すものです。3年に1度、4月から6月に国際ロータリー世界本部の近隣地において開催されます。

審議会議員は、各地区ごとに1名の代表議員が地区内クラブから選挙された投票権を有する議員と投票権を有しない議員によって構成されます。

国際協議会

年1回開かれる国際協議会は、7月1日から就任される全世界の地区ガバナー・エレクトを教育するのが第1の目的です。国際ロータリー委員会委員長その他、理事会が指定する人、そしてガバナー・エレクトは配偶者同伴で参加します。1週間を超える期間を通じて経験豊かなロータリアン・リーダーの研修を受け、次年度RI会長と会合し、RIテーマを学びます。また、ロータリー教育、管理の責務についての指示および親交の機会を参加者に与えます。

第1回国際協議会は1919年、米国イリノイ州シカゴにおいて開かれました。最近は、サンディエゴで開かれています。

本会議場に掲げられているメッセージは「入りて学び、出でて奉仕せん」(Enter to learn, go forth to serve.)です。

地 区

全世界のロータリークラブを地域別に分けて地区といいます。

現在国と地域で200ヶ国以上で532の地区があります。(日本は34の地区)

地区大会

毎年1回ガバナー主宰で、ガバナー所属のクラブが通常ホスト（世話役）となり行われる地区内全ロータリアンの集いです。

地区大会は、地区における最大の行事で、2日～3日間開かなければなりません。地区内のすべてのロータリアンとその家族に開放されており、また、ローターアクター・インターアクター・青少年交換学生・ロータリー財団学友・その他ロータリープログラムのボランティアにも地区大会活動への参加を呼びかけています。地区大会には、R1会長代理が出席し、少なくとも2回は大会で講演する機会を用意されています。



この大会の目的は、交歓と、感銘深い講演と、地区内クラブおよび国際ロータリー全般に関する問題の討議によって、ロータリーのプログラムを推進することです。

この大会は、理事会から提出された特別な問題、あるいは地区内で生じた問題について審議します。地区大会は立法機関ではありませんが、時として、大会での討議の結果起草された立法案を規定審議会に提出して審議を求めることもあります。

地区大会は、翌ロータリー年度に規定審議会が開催される場合は、代表議員および補欠議員を選挙します。

またその年度のR1のテーマが、大会議事の眼目となり、ロータリーに関する会議や討論会に最低9時間以上を充てますが、余興プログラムもあって大会の呼びものとなります。

地区大会は旧交を温め、新しい友人をつくるのに絶好の機会といえます。

会長エレクト研修セミナー (PETS・ペッツ)

地区ガバナー・ノミニーが、地区研修リーダーと協力して実施する次年度クラブ会長のための研修教育プログラムです。

地区協議会

毎年1回地区内全クラブの次期の会長、幹事、主要委員長などクラブ指導者が集まる知識・情報交換の場です。

ガバナー・エレクトは、地区協議会のプログラム全般の責任者であり、地区研修リーダーは、協議会の計画と実施の責任者で、ロータリークラブの運営や奉仕プロジェクト、新しいロータリー情報そしてアイデアを提供します。

次期ガバナーは、次年度のR1会長のテーマと強調点を検討し、地区の目標と目的を全クラブに伝え、諸計画が実施に向けて展開されるよう適切な指示を供与する重要な会議です。



インターシティー・ミーティング〔IM〕

近隣都市数クラブが集まって開かれるロータリーの会合（都市連合会）です。討論の主な内容は、四大奉仕部門をカバーしつつ、ロータリーの特徴やプログラムなどを検討します。

クラブ会員全員参加のこの会合の目的は、会員相互の親睦と知識を広めることであって、さらに、会員にロータリー情報を伝え、奉仕の理想を勉強するために開催されます。決議や決定はありません。IMへの出席はメイクアップとなります。

ロータリークラブ

ガバナー公式訪問

年度前半を目途にガバナーが各クラブを訪問し、①会長、幹事そして会長エレクトなどを交えクラブの諸問題について隔意のない懇談と指導を行う②例会で全会員に対し感銘深い挨拶を行い、ロータリー活動を励ます③クラブ協議会メンバーとクラブ運営活動の推進について協議し、助言を与えることなどです。

クラブ協議会

クラブ内においてロータリーのプログラムを調整・発展させるために開かれる役員および委員長の会議です。クラブの計画・運営・活動について協議します。またクラブの他の会員も要請されます。

年度始め／ガバナー公式訪問前の2週間以内／公式訪問当日／地区大会後1ヵ月以内／その他適時少なくとも年6回以上開かれます。

年次総会（クラブ総会）

毎年12月末までに次々期会長を含める次期理事、役員を選挙します。

クラブ理事会

毎月1回定例理事会を開きます。クラブ運営の最終決定機関になります。年度計画、新しい試みなど実行に移すときにこの理事会に諮ります。

クラブ・フォーラム

全会員で四大奉仕部門にわたり、活動について討論します。回数は多く行われることが望ましいです。

委員会

四大奉仕部門に委員会をおき、会員相互に対する奉仕、自らの職業を通じて行う奉仕、地域社会に対する奉仕、国際社会に対する奉仕に、すべての奉仕活動を網羅し、会員にその機会を与えます。それぞれに小委員会を設けます。

＜クラブの委員会とその主な活動＞の項を参照（P13～16）

地区リーダーシップ・プラン (DLP)

DLP (District Leadership Plan)

地区リーダーシップ・プランとは、地区の運営上の組織構成です。

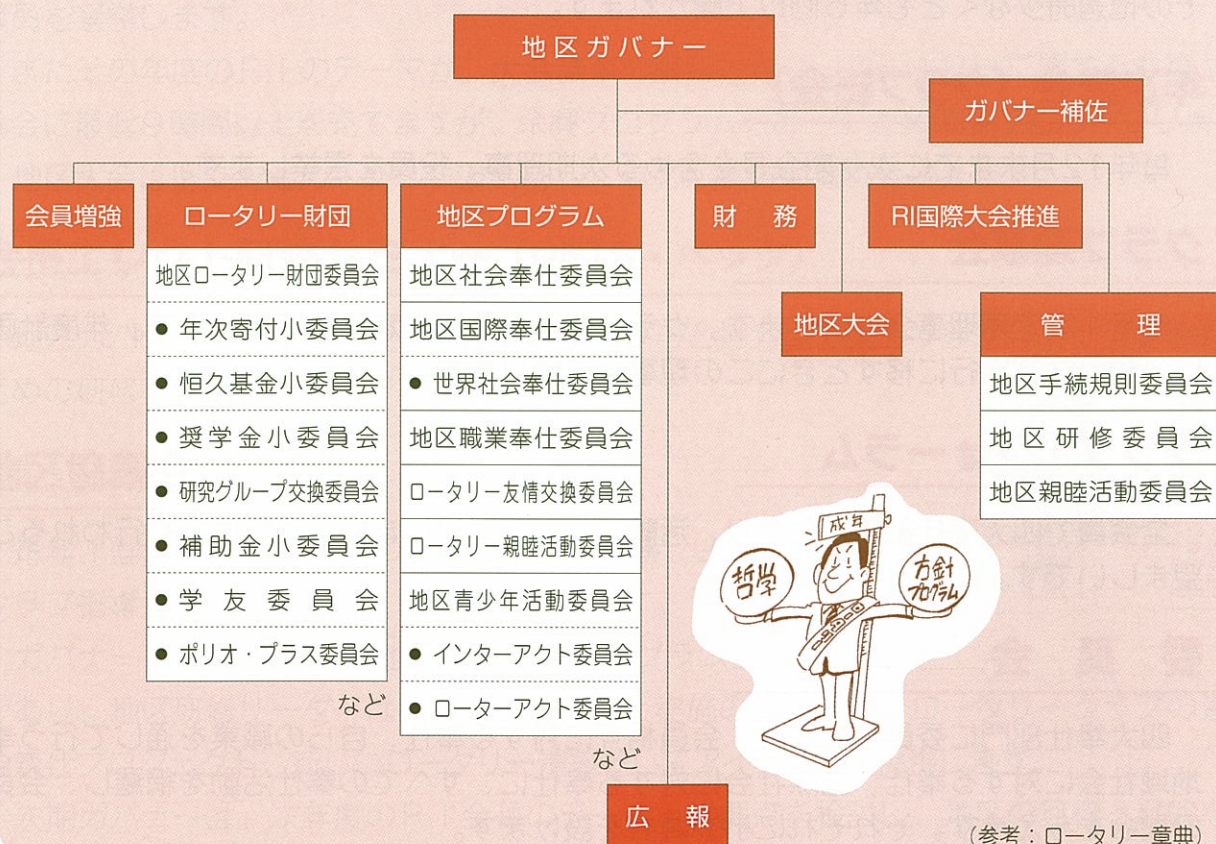
各地区のプランには、クラブと地区の両方に通じるガバナー補佐、標準的な地区委員会構成、指導者の継続性を保障する体制などが含まれています。

すべての地区は、理事会が概要をまとめた地区リーダーシップ・プラン (DLP) の構成に準拠して、リーダーシップ・プランを確立するよう要請されています。

義務付けられている DLP の構成

1. 「ガバナー補佐」、「地区研修リーダー」、「各種地区委員会」、「クラブリーダーシップ・プラン」といった共通の用語
2. ガバナー補佐、地区研修リーダー、地区委員会委員、クラブ指導者の明確な責務と任務
3. 地区内の指導層の継続性を確保する地区委員会
4. ガバナーが委任することのできない任務や責務の明確な記述
5. クラブが（地区リーダーシップ・プランに）対応するクラブ・リーダーシップ・プランを施行するのを助ける明確な計画

地区リーダーシップ・プラン (DLP) による委員会構成図



ガバナー

ガバナーは所管地区内のクラブによって指名され、R I 国際大会によって選挙された、地区内における R I の唯一の管理役員となる。7月1日に就任し、1ヶ年間または後任者が選挙され、資格が確定するまでその任に留まるものとする。

ガバナー・ノミニー

地区内のクラブは、ロータリーの原則に合致した品位ある信頼できる方法で、ガバナー・ノミニーを選出しなければならない。地区は、ノミニーを、ガバナーとして就任する日の直前24ヶ月以上36ヶ月以内に選出しなければならない。地区はクラブ群または地理的地域の間で回り持ちによってガバナーを指名するという従来の方式に煩わされない手続によって、ガバナーとして最適な人物を探し、指名するよう要請されている。

ガバナー補佐

全地区は、地区レベルでの任務を遂行し、また担当するクラブの管理運営に関してガバナーを補佐する責任を負うために、ガバナーから任命されるロータリアンの役職名を「ガバナー補佐」とする。

ガバナー補佐の任務

- 次期クラブ会長と会い、毎年クラブ・リーダーシップ・プランの推進、実施、見直しを行い、クラブの目標について協議し、「効果的なロータリークラブとなるための活動計画の指標」を検討するにあたって助力する。
- ガバナーの公式訪問に際して開かれる各クラブ協議会に出席する。
- 望ましくは1カ月に1度、最低でもロータリー年度の各四半期に1度は、各クラブを定期的に訪問する。また、クラブ会長やクラブ指導者に会い、クラブの業務、クラブが利用できる資料、支援源、およびクラブ資金を実務的に取り扱うことについて話し合う。
- クラブ指導者がガバナーの公式訪問の予定を調整し、計画を立てるにあたって助力する。
- 地区リーダーシップ・プランとクラブ・リーダーシップ・プランを推進する。
- 地区研修・会長エレクト研修・地区協議会に出席する。など。

地区研修委員会

ガバナー、ガバナー・エレクトがクラブと地区の指導者に研修を行い、地区の研修計画全般を監督するうえで、支援する責務がある。地区研修リーダーが研修委員会の委員長を務め、必要に応じて研修会合や行事の責務を他に割り当てる。

任務および責務

- a) 委員会は、各会合の招集者に対して責任を負うという点を理解していること。
- b) 委員会は、以下の研修の必要性に対応しなければならない。

- 1) PETS (会長エレクト研修セミナー) 2) 地区協議会 3) 地区チーム研修セミナー

地区委員会

ガバナー補佐の助言を得てガバナーが公式に設定する地区目標を実行することを託されている。ガバナー・エレクト、ガバナー、直前ガバナーはリーダーシップの連続性と継続した計画を確実にするために協力して仕事をすべきである。年度開始に先立って計画会議を指揮する責任がある。

- 会員増強 ● 拡大 ● 財務 ● 地区プログラム ● 広報 ● 地区大会
- ロータリー財団 ● R I 国際大会推進 ● 地区研修 など。

クラブ・リーダーシップ・プラン (CLP)

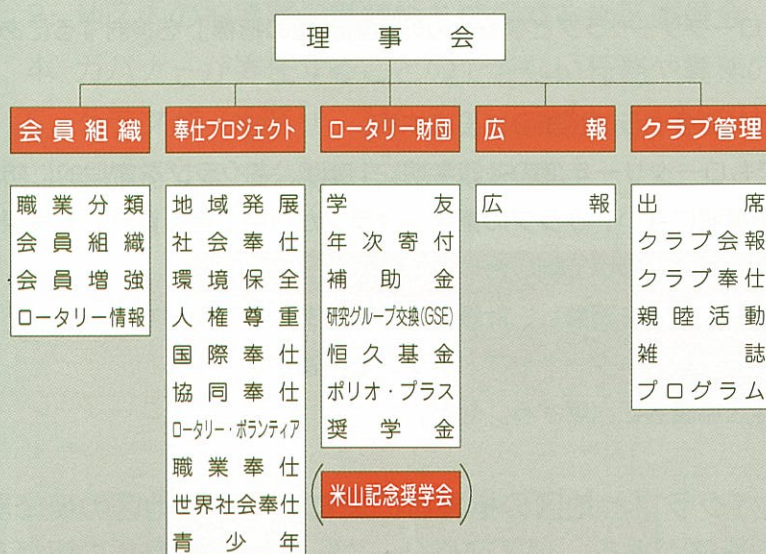
CLP (Club Leadership Plan)

クラブ・リーダーシップ・プラン (CLP) とは、ロータリークラブに推奨される管理的枠組みであり、効果的なロータリークラブのベスト・プラクティス（最善の実践方法）に基づいて作成されます。

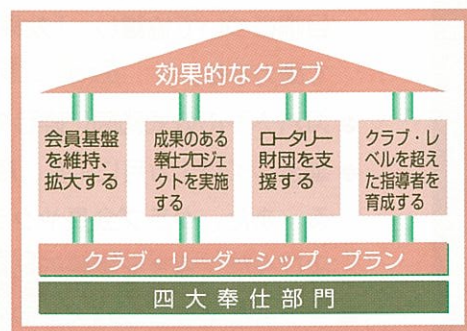
それぞれのロータリークラブは独自に異なる存在であるため、クラブ・リーダーシップ・プランは、世界中のクラブの個々のニーズに応用できる柔軟性を備えています。クラブ・リーダーシップ・プランの採用はすべてのクラブに義務づけられているわけではありません。標準化された管理上の手続きを採用することは、新旧を問わずすべてのロータリークラブにとって有用となるでしょう。

任意のクラブ委員会 および 小委員会の機構

機能的グループに基づく



効果的なクラブとなる 四つの要素



CLPと四大奉仕の関係

クラブ・リーダーシップ・プランの下でも、クラブの奉仕活動がバランス良く保たれ、ロータリーの綱領のすべてを実現すべく、四大奉仕部門（クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕）はロータリーの活動の中心を成しています。四大奉仕部門は、ロータリークラブが、ロータリーの第一の目的、すなわち「超我の奉仕」に主眼を置き続けるためのものです。クラブは、奉仕の各部門を取り上げた年次目標を設定すべきです。クラブの運営ニーズは、5つの常任委員会（クラブ管理運営、クラブ広報、会員組織（会員増強・退会防止）、奉仕プロジェクト、ロータリー財団）が取り組むことになります。

各クラブ委員会は、進捗や委員会活動について、定期的にクラブ理事会に報告すべきであるとされます。多くのクラブは、クラブ協議会をこの目的に利用しています。各委員会はまた、クラブを担当するガバナー補佐および適切な地区委員会と定期的に連絡を取り合うことによって、地区からの支援を活用すべきです。

クラブの委員会とその主な活動

会員組織委員会

この委員会は、会員の勧誘と退会防止に関する包括的な計画を立て、実施するものです。

職業分類委員会

毎年遅くとも8月31日以前に、その地域社会の職業分類調査を行い、その調査から職業分類の原則を適用し、職業分類表を作成します。また、必要な場合はクラブの現会員の持っている職業分類を再検討するなど、あらゆる職業分類の問題について理事会と協議します。

会員選考委員会

会員に推薦されたすべての者を個人的な面から検討して、その人格、職業上および社会的地位並びに一般的な適格性を徹底的に調査し、そして、すべての申込みに対する委員会の決定を理事会に報告します。

会員増強委員会

自クラブの充填未充填職業分類表を絶えず検討し、未充填の職業分類を充填するために適当な人物の氏名を理事会に推薦するよう積極的に努めなければなりません。

毎年会員の自然減が5～10%あります。退会の理由は多岐にわたりますが、このためにも毎年新しい会員の補充が必要です。「増」は増員、「強」は強化です。

ロータリー情報委員会

全会員に対しロータリーについてのあらゆる知識と理解を広げるよう、適切なロータリーの考え方を伝えることが必要です。クラブの情報委員会は特に新会員がロータリーを正しく理解し、ロータリー会員の特典と責務を了解することに対し強力に援助しなければなりません。

1996年6月のRⅠ理事会決定で、ロータリー情報委員会は、入会してから最初の1年間新会員のオリエンテーションを監督することになりました。さらに情報委員会は、幅広く広大な調整責務を持つうえ、クラブ全員にロータリー情報を絶えず伝達すべき責任を持っている極めて重要な地位におかれているため、情報委員には、可能な限り最高の適任者を任命することが強く要請されています。

奉仕プロジェクト委員会

この委員会は、地元地域社会および他国の地域社会におけるニーズに応える教育的、人道的、および職業関係のプロジェクトを立案し、実施するものです。



職業奉仕委員会

クラブとして職場の生活環境基準を高めるプロジェクト、働く人の可能性を開花させるよう力を貸すプロジェクト、あらゆる有用な職業の価値を高めるプロジェクトを、次のような小委員会を置くことによって実践します。



就職相談、職業指導、職業情報、職業活動表彰、ロータリー・ボランティア などです。
人生の指針として職業奉仕にふさわしい言葉として「四つのテスト」で問いかけています。

社会奉仕委員会

地元地域社会およびその人々に対する思いやりや援助の気持ちを形に表すうえで役立つ指導と援助をする方法を考案し、これを実施します。次のような社会奉仕小委員会を設置することを奨励します。

環境保全委員会・地域発展委員会・人間尊重委員会・協同奉仕委員会

新世代奉仕（青少年奉仕）

対象年齢0歳児を含む年齢30歳までの若い人すべてを含む新世代の多様なニーズを認識し、そのニーズを支援するプログラムをつくりプロジェクトに着手し取り組みます。



• インターアクトクラブ〔INTERACT CLUB〕

インターアクトクラブとは奉仕と国際理解に貢献する、ロータリークラブ提唱の世界的団体です。高校に在学中の生徒、または年齢14～18歳までの青年が会員です。



• ローターアクトクラブ〔ROTARACT CLUB〕

ロータリークラブ提唱の18～30歳までの青年男女によって構成される世界的青年団体のクラブで、地域社会における物質的、あるいは社会的ニーズに取り組み、親睦と奉仕生活を通じて、よりよい信頼関係を推進するための機会を提供することを目的とします。

国際奉仕委員会

ロータリアンが、国際理解、親善、平和を推進するための国際奉仕活動に役立つ指導と援助をする方策を考案し、実行します。

次のような国際奉仕委員会を置いて活動およびプロジェクトに協力します。

世界社会奉仕、ロータリー財団、ポリオ・プラス、青少年交換（青少年奉仕として扱われる）、国際交流、GSE（研究グループ交換）などです。



ロータリー財団委員会

この委員会は、寄付とプログラムへの参加を通じてロータリー財団を支援する計画を立て、実施するものです。(P17参照)

米山記念奨学委員会 (日本のみのプログラム)

この委員会は、寄付とプログラムへの参加を通じて米山記念奨学会を支援する計画を立て、実施するものです。(P20参照)



広報委員会

この委員会は、一般の人々にロータリーについての情報を提供し、クラブの奉仕プロジェクトと奉仕活動を広報する計画を立て、この計画を実施するものです。

クラブ管理運営委員会

この委員会は、クラブのすべての管理運営の活動を実施し、クラブ幹事および会計は、この委員会の委員となるものとします。

出席委員会

全会員に、クラブ例会に一定の基準以上出席しなければならない出席規定を周知させ、自クラブの例会に出席できない場合は他クラブ例会への出席を奨励します。すべての会員があらゆるロータリーの会合（IM、地区大会、国際大会等）に出席するよう奨励します。

出席率が低下している場合には、会員の出席できない理由などを確かめて、クラブ内に問題はないかを検討します。そして、例会での親睦を楽しみ、クラブ進展やプロジェクトの推進に全会員が必要だと認識するべく意識を高めます。皆出席の会員には表彰をして、出席への励みにします。

クラブ会報委員会

クラブ週報の刊行によって、関心を促して出席の向上を図ります。前回の例会の重要事項を報告し、次回例会のプログラム、近づくプロジェクトの推進を発表します。それらの情報によって親睦を増進し、また、国内は勿論、国際ロータリーのプログラムについて、そして世界各地のロータリープログラムに関するニュース等を伝えるべく努めなければなりません。

クラブ奉仕委員会

クラブを円滑に機能させるためにクラブ内で措置を講じます。

親睦活動委員会

会員間の知り合いと友誼を深め、計画されたロータリーのレクリエーションおよび社交的諸活動への参加を会員に奨励します。

雑誌委員会

国際ロータリーの機関雑誌に対する読者の関心を喚起します。

例会においては毎月雑誌の簡単な紹介、ロータリアンでない卓話者に雑誌を贈呈、図書館、学校、病院等、その他の図書閲覧室のために特別購読の取り計らい、その他あらゆる方法によって雑誌を地域社会の人々に役立つよう努めます。

ロータリーの雑誌については、1992年規定審議会において「自発的に……購読者となる」という従来の表現から「会員は……有料購読しなければならない」と直接的な強い表現になりました。日本のロータリアンは「The Rotarian」か「ロータリーの友」のいずれかの購読者となります。

プログラム委員会

クラブの例会や特別の会合のためにプログラムを計画し、準備、手配します。プログラムは理事会や各委員会の計画が円滑に実行されるよう考案され、またバランスのとれたものであることが必要です。従って四大奉仕委員長および理事と共に1年間のプログラム計画を立て、ロータリー活動の各部門にそれぞれ何回の例会を割り当てるかを決めるといったことが重要です。クラブがプログラムを通じて、如何なる効果を上げているかを検討します。

例会／出席

国際ロータリーが「出席」と言って一定の拘束を課しているのは、クラブ定例会への出席のことです。世界中のRCは必ず一週に一度、一定の日時に一定の場所で定例の会合を開くことを定め、その日時と場所は国際ロータリーが毎年発行する公式名簿に記載されています。すべてのロータリアンは、随時これに出席することができます。そして、その定例会への出席は、自クラブ（ホームクラブ）への出席と同じ効力を認められます。＜メイクアップ＞

従って、クラブの例会というのは、そのクラブの会合ではなく、国際ロータリーの一員としての「公式会合」と言われるのです。

メイクアップ（出席の補填） Make-up

例会を欠席したとき、または欠席が予定されるとき、その出席の補填ができる方法です。

- 自クラブ例会を欠席した場合、または欠席が予定されている場合、2週間前の例会（の定刻）から2週間後の例会（の定刻）までに、他のロータリークラブの例会か、他の所定の会合（以下の会合）へ出席する。
- RI会長が主宰する国際大会等および地区ガバナーが主宰する地区大会、地区協議会等。
- 自クラブ理事会承認の例会以外の会合や行事。
- クラブのウェブサイトを通じて、平均30分の参加が義務付けられた相互参加型の活動に参加すること。
- その他メイクアップを認められる場合はその訪問先のクラブ（または会合）の幹事から「出席証明票」が所属クラブに送付、またはその場で受け取り自クラブ幹事へ提出する。



非営利財団法人で、国際ロータリーのロータリー財団の使命は、ロータリアンが健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。

この財団は、国際ロータリーの6人目の会長アーチ・クランフ氏の提唱で1917年に基金として発足、1928年の国際大会で「ロータリー財団」と名付けられました。

活動の資金は従来の褒賞枠方式が変わり、地区の一般寄付金額の50%が地区財団活動資金（DDF）となり、50%が国際財団活動資金（WF）に当てられるシェア・システムが採用されました。この資金は寄付した年度の3年後に支出されます。

2006～'07年度からは、従来と同額のDDFを使うためには、寄付を20%増やさなければなりません。

ロータリー財団の目標

ロータリー財団の目標は、博愛、慈善、教育または人道的という特質を持つプログラムの促進を通じて、さまざまな国の国民のあいだに理解と友好的関係を助長することです。

ロータリー財団の使命は、地域、全国、国際レベルの人道的、教育的、文化交流プログラムを通じて、ロータリーの綱領とロータリーの使命を遂行し、かつ世界平和を達成しようとする国際ロータリーの努力を支援することです。

ロータリー財団のプログラム

人道的プログラム (Humanitarian Program)

● マッチング・グラント (Matching Grants)

マッチング・グラントの資格要件は人道的プロジェクトであるということです。また今日では、衛生や水質浄化をはじめとして、識字率向上プログラムやあらゆる保健問題など国際規模の人道的プロジェクトです。(国際パートナーが必要)

● 個人向け補助金 (Individual Grants) (IG)

ロータリアン、その配偶者、ローターアクター、ロータリー財団学友など個人またはグループに授与されます。海外でボランティア奉仕活動を実施する場合、旅費や食費が支給されます。

● 地区補助金 (District Simplified Grants) (DSG)

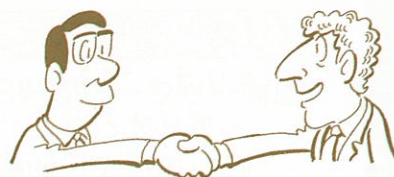
ロータリークラブが地域社会または国内で奉仕プロジェクトを実施する際の補助金です。(DDFの20%まで) 自国内の社会奉仕にもロータリー財団補助金が使えるようになりました。

● 保健、飢餓追放および人間性尊重 (Health, Hunger and Humanity — 3-H) 補助金

国際間の理解、親善および平和を促進するための方法として人々の健康状態を改善し、飢餓を救済し、人間的、社会的向上発展を図るために開始されました。

● ボランティア奉仕活動補助金

● 災害救援 (1,000ドル以上のDDF)



教育的プログラム

(Educational Program)

● 国際親善奨学金

多くの国の有望な学生を他国に派遣し、国際親善と理解を育成し、奨学生に勉学の機会を提供し、相異なる国民間の理解と友好関係の増進に寄与することを目的とします。

○ 1 学年度（9ヵ月）の国際親善奨学金：

通常9ヵ月、1学年度です。ほとんどの分野での研究が認められています。

○ マルチ・イヤー国際親善奨学金：

学位取得を目的とする2年の奨学金です。2008-'09年度より1年につき、11,500ドルとなります。

○ 文化研修のための国際親善奨学金：

3ヵ月または6ヵ月の語学強化研修と相手国の文化に溶け込むことを目的とします。

● 世界平和フェローシップ

紛争解決と平和に関する国際問題について研究するための奨学金です。（3年間の試験的プログラム）世界平和奨学生は、3年以上の職歴を必要とします。

● 研究グループ交換

25歳から40歳の事業および専門職務に従事するロータリアンではない人々のために、異なった国の地区の間で実施される短期の文化および職業に関する交換プログラムです。

● 大学教員のための補助金

自国以外の低所得国の大学で教鞭を執る優秀な大学教員に授与されるもので、ロータリアンであっても受領できます。

ポリオ・プラス・プログラム

(Polio Plus Program)

● ポリオ・プラス

ポリオと共にハシカ・ジフテリア・結核・百日咳・破傷風の5つをプラスして、同時追放を目的としています。ポリオ・プラス・プログラムは、大規模な予防接種キャンペーンのためのワクチンと輸送をはじめ、世界ポリオ撲滅の最終局面における役割を果たすために、社会動員や監視、人員を支援しています。

● ポリオ・プラス・パートナー（基金）

ポリオ発生地域のロータリアンを援助し、①全国予防接種日のための地域社会動員、②ポリオ・ウイルス免疫所への援助、③ポリオ担当役員・疾病専門医への援助活動の3つのニーズに目標をおき、ポリオの撲滅に必要な用具や補給品の費用やその他活動費用等を支援することを目的としています。

寄 付

1. 年次寄付 2. 恒久基金寄付 3. 使途指定寄付

● 年次寄付

年次寄付は、寄付の基盤であり、この寄付は使い道を指定することなく、ロータリー財団に寄付するもので、3年後に、地区の年次寄付総額の50%については地区がその使い道を決定することができます。

● 恒久基金寄付（ベネファクター）

基金への寄付は、投資され、その収益だけが財団プログラムの支援に使われます。

恒久基金に少なくとも米貨1,000ドルを寄付した人はベネファクターの認証を受けます。慈善年金。

● 使途指定寄付

あらかじめ使い道を決めて寄付するものです。ポリオ・プラスがその代表的例です。

● 遺贈友の会

生前、ロータリー財団に資産の一部を贈ると遺言することです。1万ドル以上の遺贈を約束しますと、遺贈友の会メンバーとなります。

● 大口寄付

年次寄付、恒久基金寄付、ポリオ・プラスの寄付の総額で1万ドルを超えると、大口寄付者となります。累計で1万ドルに達していても、他の人から認証ポイントを受け取っていると、その額を差し引きます。

● 認証ポイント

個人の場合、1,000ドルを年次寄付または使途指定寄付をして寄付すると、ポール・ハリス・フェローになります。さらに、200ドル寄付して累計1,200ドルになると、200ポイントの認証ポイントがつきます。

個人のポイントの他に、クラブのポイントというものもあります。マッチング・グラントを申請して、寄付すると、申請クラブまたは地区にポイントがつきます。そのポイントを会員に譲渡することができます。

● 財団の友

年次プログラム基金へ毎年100ドル以上寄付する人のことです。

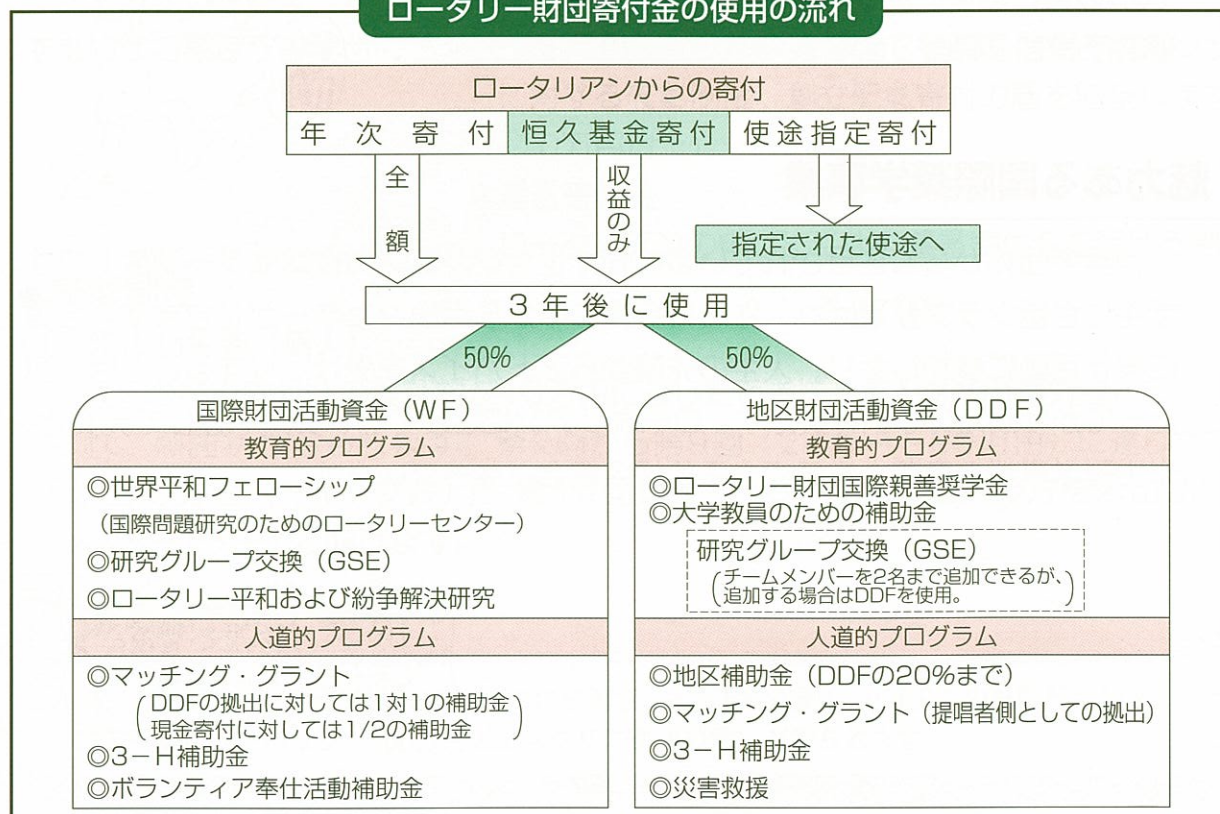
● シェア・システム

年次寄付は3年後のプログラムの費用として保管しておきます。地区はプログラムを計画したり、奨学生を選考できます。この間、財団は、寄付金を投資して、管理、プログラム運営、寄付増進費用とします。その結果、寄付金は一銭も残らず3年後にプログラムに使うことができます。

● ロータリークレジットカード

入会者数が5,000人を超えると、カード会社より0.3%がロータリー財団に還元されます。

ロータリー財団寄付金の使用の流れ

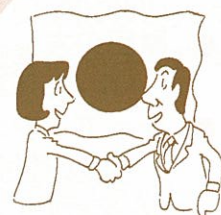




ロータリー米山奨学事業とは、全国のロータリアンからの寄付金を財源として、日本で学ぶ私費外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業です。将来、日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することが事業の使命です。

その歴史は50年以上前にさかのぼります。平和を愛し、青少年に手をさしのべた“日本ロータリーの父”米山梅吉氏の遺徳を記念する事業として、1952年、東京ロータリークラブは、海外からの留学生を支援する国際奨学事業を始めました。やがてそれは、日本全国のロータリークラブの共同事業として発展し、1967年に文部省（現・文部科学省）を主務官庁とする（財）ロータリー米山記念奨学会が設立されました。50有余年の歴史を持ち、世界に類を見ない日本ロータリー独自の多地区合同奉仕活動となっています。

米山奨学会の特色



一番の特徴は、その規模です。米山奨学生の採用数は年間800人。世界規模で展開しているロータリー財団国際親善奨学生の年間採用数と同じです。これだけの外国人留学生を支援している奨学団体は、事業規模・採用数とも日本国内では民間最大です。これまでに支援した奨学生数は累計で1万3,902人（2007年4月現在）、その出身国は、世界109の国と地域に及びます。米山学友（元米山奨学生）は、韓国駐日大使やスリランカ警察庁長官、韓国・台湾のガバナーに就任した人など、世界中で活躍しています。

魅力ある国際奨学事業

他奨学団体からも注目されているのが「世話クラブ・カウンセラー制度」です。各奨学生に世話クラブが選ばれ、さらに会員の中からカウンセラーが付きます。会員とともに奉仕活動に参加したり、人生の先輩からアドバイスを受けたりすることは、奨学生にとってかけがえのない経験です。ロータリアンにとっても、交流を通して異文化を知り、米山奨学事業の意義を実感できる絶好の機会となっています。



米山奨学金

米山奨学金は、財団法人ロータリー米山記念奨学会が行う国際奨学事業です。これは、ロータリー財団の奨学金や政府奨学金のように、学費や生活費のすべてを保証するものではなく、私費留学生の費用の一部を補助する趣旨のものです。

奨学生の第1号はタイから来日した学生で、第一期生は海外のロータリークラブの推薦を受けた学生を招致する方法をとりましたが、手続きが難航したため、以後は日本の大学に在籍している留学生から採用する方法にしました。

1967年の法人化した当時の奨学生数は年間59名でした。1971年にはカウンセラー制度を設置しました。世話クラブとともに奨学生の個人的世話にあたる会員を“米山カウンセラー”として委嘱しました。1998年に米山奨学生の出身地をロータリークラブ所在国にかかわらず全ての国・地域に拡大、2001年から指定大学に応募学生を推薦してもらう「大学推薦制度」が全国で実施されました。2007年4月現在、奨学生数は年間約800人、奨学金額は大学院生14万円、学部生10万円（月額）となっています。

奨学会に対する寄付金

1. 普通寄付金 ————— ● 日本の全ロータリアンからクラブを通じて定期的に寄附。各クラブで会員1人あたりの金額を決定し、会員数分を半期に一度送金します。

2. 特別寄付金 ————— ● 個人、クラブまたは法人として、普通寄付以外に寄附されるもので、金額も時期も問いません。特別寄付はロータリークラブ以外の個人、法人、団体からも受けることができます。（税法上の優遇措置あり）



*クラブ創立記念特別寄付

クラブの創立記念事業として特別寄付をされたクラブに対する表彰制度。創立記念寄付の盾を贈呈します。（10万円以上）

*遺言寄付金

ロータリアンの申し出による遺言寄付金を受ける制度。

●表彰制度

(1) 米山功労者（個人）

個人の特別寄付金の累計額が10万円に達したときに、第1回米山功労者として表彰され、感謝状が贈られます。第2回から第9回（20万円～90万円）に達した方を「米山功労者（マルチプル）」、第10回以上（100万円以上）の方を米山功労者（メジャードナー）と呼びます。

表彰品について…

100万円以降300万円までは、10万円毎に感謝状、100万円以降は10万円毎の感謝状に加え、100万円毎にピンバッジ（400万円以上はクリスタルの盾）が贈られます。

(2) 準米山功労法人

法人として特別寄付金5万円に達したとき、準米山功労者法人として登録されます。
(表彰はありません)

(3) 米山功労法人

法人が累計50万円の特別寄付をされたとき、米山功労法人として感謝状が贈られます。この場合、個人として重複しての米山功労者の表彰はありません。

(4) 米山特別功労法人

法人からの特別寄付金累計額が100万円に達したとき、以降100万円毎に、米山特別功労法人として表彰され、盾もしくは感謝状（選択可）が贈られます。

(5) 米山功労クラブ

クラブの特別寄付金の累計額が100万円に達したとき、米山功労クラブとして感謝状が贈られます。

クラブの特別寄付金額には、個人の特別寄付金も集計されます。第2回目からは100万円ごとに感謝状が贈られます。

(6) 1千万・2千万・3千万円達成クラブ

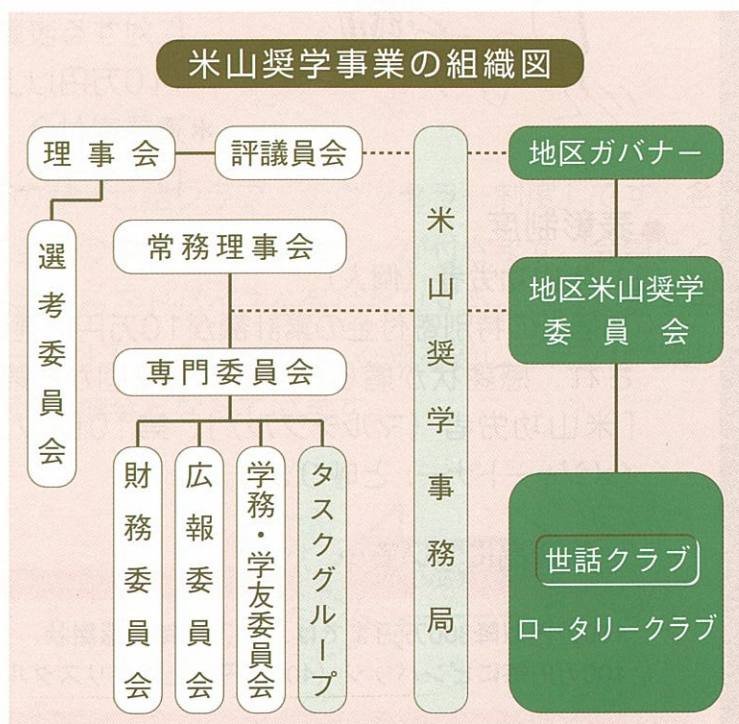
普通寄付金と特別寄付金の合計した累計額が、1千万円、2千万円または3千万円に達したときは、それぞれ「1千万円達成クラブ」「2千万円達成クラブ」または「3千万円達成クラブ」として、感謝状が贈られます。

以後、1千万円増額達成ごとに同様に表彰されます。

3. 免税措置について ——— 米山奨学会は、法人税法および所得税法に掲げる特定公益増進法人に該当します。

組織と運営

執行機関は理事会で、25名以上40名以内の理事によって構成されます。（理事長1名、副理事長3名以内、常務理事5名以内、監事3名以内）評議員は奨学会の事業を援助するロータリーの会員で、50名以上80名以内で各地区から所属地区ガバナーの推薦者を理事長が委嘱します。



ロータリーの推進月間と週間

クラブだけでなくロータリアン一人一人がロータリーの活動への参加を強調するために、R I 理事会が定めた月間・週間です。

7月



1月

ロータリー理解推進月間

追悼記念週間

毎年1月27日を含む1週間

8月

会員増強および
拡大月間

2月

世界理解月間

世界理解と平和週間

毎年2月23日を含む1週間

ロータリー創立記念日

9月

新世代のための月間

3月

識字率向上月間

世界ローターアクト週間

毎年3月13日を含む1週間

10月

職業奉仕月間
米山月間

4月

ロータリー雑誌月間

11月

ロータリー財団月間

世界インターアクト週間

毎年11月5日を含む1週間

5月



12月

家族月間

6月

ロータリー親睦活動月間

R I 国際大会

国際大会開催一覧表

回	開催年月日	場所	登録者数
1	1910.8. 15-17	シカゴ (イリノイ州)	60
2	1911.8. 21-23	ポートランド (オレゴン州)	149
3	1912.8. 6-9	デュールス (ミネソタ州)	598
4	1913.8. 18-21	バッファロー (ニューヨーク州)	930
5	1914.6. 22-26	ヒューストン (テキサス州)	1,288
6	1915.7. 18-23	サンフランシスコ (カリフォルニア州)	1,988
7	1916.7. 16-20	シンシナティ (オハイオ州)	3,591
8	1917.6. 17-21	アトランタ (ジョージア州)	2,588
9	1918.6. 24-28	カンザスシティ (ミズーリ州)	4,145
10	1919.6. 16-20	ソルトレーク・シティ (ユタ州)	3,083
11	1920.6. 21-25	アトランティック・シティ (ニュージャージー州)	7,213
12	1921.6. 13-16	エジンバラ (スコットランド)	2,523
13	1922.6. 5-9	ロサンゼルス (カリフォルニア州)	6,096
14	1923.6. 18-22	セントルイス (ミズーリ州)	6,779
15	1924.6. 16-20	トロント (カナダ・オンタリオ州)	9,173
16	1925.6. 15-19	クリーブランド (オハイオ州)	10,216
17	1926.6. 14-18	デンバー (コロラド州)	8,886
18	1927.6. 5-10	オステンド (ベルギー)	6,412
19	1928.6. 18-22	ミネアポリス (ミネソタ州)	9,428
20	1929.5. 27-31	ダラス (テキサス州)	9,508
21	1930.6. 23-27	シカゴ (イリノイ州)	11,008
22	1931.6. 22-26	ウィーン (オーストリア)	4,296
23	1932.6. 20-24	シアトル (ワシントン州)	5,182
24	1933.6. 26-30	ボストン (マサチューセッツ州)	8,430
25	1934.6. 25-29	デトロイト (ミシガン州)	7,377

回	開催年月日	場所	登録者数
26	1935.6. 17-21	メキシコ・シティー (メキシコ)	5,330
27	1936.6. 22-26	アトランティック・シティ (ニュージャージー)	9,907
28	1937.6. 6-11	ニース (フランス)	5,790
29	1938.6. 19-24	サンフランシスコ (カリフォルニア州)	10,432
30	1939.6. 19-23	クリーブランド (オハイオ州)	9,241
31	1940.6. 9-14	ハバナ (キューバ)	3,713
32	1941.6. 15-20	デンバー (コロラド州)	8,942
33	1942.6. 21-25	トロント (カナダ・オンタリオ州)	6,599
34	1943.5. 17-20	セントルイス (ミズーリ州)	3,851
35	1944.5. 18-22	シカゴ (イリノイ州)	403
36	1945.5.31, 6.5,12,19	シカゴ (イリノイ州)	141
37	1946.6. 2-6	アトランティック・シティ (ニュージャージー州)	10,958
38	1947.6. 8-12	サンフランシスコ (カリフォルニア州)	14,678
39	1948.5. 16-20	リオデジャネイロ (ブラジル)	7,511
40	1949.6. 12-16	ニューヨーク (ニューヨーク州)	15,961
41	1950.6. 18-22	デトロイト (ミシガン州)	6,949
	(テーマ) ①ロータリー・クラブへの入会が認められた各新会員 (適切にクラブに推薦された新会員)には、入会の前 に会員の任務と義務を適切に伝え、第1年目にクラブ の活動に効果的に溶け込むことができるよう計らう こと。 ②「奉仕こそわがつとめ」に定められた職業奉仕の原 則をより良く理解し、適用すること。 ③我々の国際奉仕プログラムの強化を通して、世界理 解と平和に貢献すること。 ④すべての地区で、優れた地区大会を開催すること。		
42	1951.5. 27-31	アトランティック・シティ (ニュージャージー州)	8,453
	(テーマ) ①クラブ奉仕においては、後継者を輩出すること ②職業奉仕においては、正直が今尚最善の方針である ③社会奉仕においては、将来に備えること ④国際奉仕においては、今日の世界を再考察すること ⑤そして最後に、ロータリーの影響を広げること		
43	1952.5. 25-29	メキシコ・シティー (メキシコ)	6,804

国際大会開催一覧表

回	開催年月日	場所	登録者数
44	1953.5. 24-28	パリ (フランス)	10,107
45	1954.6. 6-10	シアトル (ワシントン州)	8,015
(テーマ)	クラブが増えれば友人が増す。友人が増えれば奉仕の機会が増す。		
46	1955.5. 29-6.2	シカゴ (イリノイ州)	14,312
(テーマ)	①過去に学んで行動せよ ②他人と分かち合え ③四つのテストで身を固めよ④青少年に対する奉仕 ⑤国際親善 ⑥良きロータリアンは良き市民である		
47	1956.6. 3-7	フィラデルフィア (ペンシルベニア州)	10,003
(テーマ)	われらの資源を開発しよう		
48	1957.5. 19-23	ルサーン (スイス)	9,702
(テーマ)	①ロータリーは簡潔に ②ロータリアンはもっとロータリーを ③お互いにもっと知り合おう		
49	1958.6. 1-5	ダラス (テキサス州)	14,035
(テーマ)	動員、拡張、探究、奉仕		
50	1959.6. 7-11	ニューヨーク (ニューヨーク州)	15,475
(テーマ)	①現在に直面するに大胆であれ ②ロータリーの綱領を分けあえ ③平和に貴下の個人的進路を見出せ ④我々の世襲財産を強化せよ		
51	1960.5. 29-6.2	マイアミー・マイアミ・ビーチ (フロリダ州)	11,354
(テーマ)	生気を与えよ 身につけよ 友愛の橋をかけよ		
52	1961.5. 28-6.1	東京 (日本)	23,366
(テーマ)	あなたはロータリーです それを生かしましょう それを表現してください それを膨脹させましょう		
53	1962.6. 3-7	ロサンゼルス (カリフォルニア州)	22,302
(テーマ)	行動せよ 行動に努めよ 理解に途を求めよ 指導力を高めよ		

回	開催年月日	場所	登録者数
54	1963.6. 9-13	セントルイス (ミズーリ州)	10,779
(テーマ)	①内部に火を燃やせ ②自身を発見せよ ③力を伸ばせ ④目的を表示せよ		
55	1964.6. 7-11	トロント (カナダ・オンタリオ州)	14,661
(テーマ)	宇宙時代におけるロータリーの進路 個人対個人・クラブ対クラブ・地区対地区		
56	1965.5. 30-6.3	アトランティック・シティ (ニュージャージー州)	9,368
(テーマ)	ロータリーに生きよう		
57	1966.6. 12-16	デンバー (コロラド州)	12,929
(テーマ)	行動、強化、継続制		
58	1967.5. 21-25	ニース (フランス)	19,362
(テーマ)	ロータリーでよりよい世界を		
59	1968.5. 12-16	メキシコ・シティ (メキシコ)	11,840
(テーマ)	ロータリアンとしてあなたの資格を効果的に		
60	1969.5. 25-29	ホノルル (ハワイ州)	14,453
(テーマ)	参加し敢行しよう		
61	1970.5. 31-6.4	アトランタ (ジョージア州)	10,803
(テーマ)	再検討し刷新しよう		
62	1971.5. 16-20	シドニー (オーストラリア)	16,646
(テーマ)	隔りを取り除こう 人と人との間の、諸国間の、人とその生活環境の		
63	1972.6. 11-15	ヒューストン (テキサス州)	13,287
(テーマ)	善意はまずあなたから		

国際大会開催一覧表

回	開催年月日	場所	登録者数
64	1973.5. 13-17	ローザンヌ (スイス)	17,187
	(テーマ)	もう一度見直して行動しよう	
65	1974.6. 9-13	ミネアポリス・セントポール (ミネソタ州)	10,015
	(テーマ)	今こそ行動のとき	
66	1975.6. 8-12	モントリオール (カナダ・ケベック州)	12,975
	(テーマ)	ロータリーの精神を振り起こせ	
67	1976.6. 13-17	ニューオーリンズ (ルイジアナ州)	13,935
	(テーマ)	人間に威信を	
68	1977.6. 5-9	サンフランシスコ (カリフォルニア州)	14,168
	(テーマ)	私はロータリーを信奉する	
69	1978.5. 14-18	東京 (日本)	39,834
	(テーマ)	全人類を結びつけるために奉仕せよ	
70	1979.6. 10-13	ローマ (イタリア)	14,429
	(テーマ)	手をさし伸べよう	
71	1980.6. 1-5	シカゴ (イリノイ州)	18,309
	(テーマ)	奉仕の灯で道を照らそう	
72	1981.5. 31-6	サンパウロ (ブラジル)	15,222
	(テーマ)	時間を捧げよう 奉仕のために	
73	1982.6. 6-9	ダラス (テキサス州)	13,222
	(テーマ)	ロータリーを通じて、世界理解と平和を	

回	開催年月日	場所	登録者数
74	1983.6. 5-8	トロント (カナダ・オンタリオ州)	16,250
	(テーマ)	人類はひとつ、世界中に友情の橋をかけよう	
75	1984.6. 3-7	バーミンガム (英国)	22,452
	(テーマ)	みんなにロータリーを みんなに奉仕を	
76	1985.5. 26-30	カンザスシティー (ミズーリ州)	12,920
	(テーマ)	見つけよう 奉仕の新生面	
77	1986.6. 1-4	ラスベガス (ネバダ州)	18,426
	(テーマ)	あなたが鍵です	
78	1987.6. 7-10	ミュンヘン (ドイツ)	26,909
	(テーマ)	ロータリーは希望をもたらす	
79	1988.5. 22-25	フィラデルフィア (ペンシルベニア州)	16,316
	(テーマ)	ロータリアン・奉仕に結束・平和に献身	
80	1989.5. 21-25	ソウル (韓国)	38,878
	(テーマ)	ロータリーに活力を - あなたの活力を	
81	1990.6. 24-27	ポートランド (オレゴン州)	21,053
	(テーマ)	ロータリーを楽しもう	
82	1991.6. 2-5	メキシコ・シティー (メキシコ)	15,638
	(テーマ)	ロータリーを高めよ… 思いを尽くし熱意を尽くし	
83	1992.6. 14-17	オーランド (フロリダ州)	19,111
	(テーマ)	自分を越えた眼を	

国際大会開催一覧表

回	開催年月日	場所	登録者数
84	1993.6. 23-26	メルボルン (オーストラリア、ビクトリア州)	22,083
	(テーマ)	まことの幸福は人助けから	
85	1994.6. 12-15	台北 (台湾)	31,161
	(テーマ)	行動に信念を、信念は行動に	
86	1995.6. 11-14	ニース (フランス)	34,077
	(テーマ)	友達になろう	
87	1996.6. 23-26	カルガリ (カナダ、アルバータ州)	24,936
	(テーマ)	真心の行動 慈愛の奉仕 平和に挺身	
88	1997.6. 15-18	グラスゴー (スコットランド、U.K)	23,506
	(テーマ)	築け未来を 行動力と先見の眼で	
89	1998.6. 14-17	インディアナポリス (インディアナ州)	19,002
	(テーマ)	ロータリーの心を	
90	1999.6. 13-16	シンガポール (シンガポール)	17,903
	(テーマ)	ロータリーの夢を追い続けよう	
91	2000.6. 4-7	ブエノスアイレス (アルゼンチン)	14,301
	(テーマ)	ロータリー2000 : 活動は 一 堅実、信望、持続	
92	2001.6. 24-27	サンアントニオ (テキサス州)	24,092
	(テーマ)	意識を喚起し、進んで行動を	
93	2002.6. 23-26	バルセロナ (スペイン)	19,059
	(テーマ)	人類が私たちの仕事	

回	開催年月日	場所	登録者数
94	2003.6. 1-4	ブリスベーン (オーストラリア)	14,147
	(テーマ)	慈愛の種を播きましょう	
95	2004.5. 23-26	大阪 (日本)	45,381
	(テーマ)	手を貸そう	
96	2005.6. 19-22	シカゴ (イリノイ州)	39,460
	(テーマ)	ロータリーを祝おう	
97	2006.11. 11-14	コペンハーゲン (デンマーク) および マルメ (スウェーデン)	14,469
	(テーマ)	超我の奉仕	
98	2007.6. 17-20	ソルトレイクシティ (ユタ州)	17,000 (非公式)
	(テーマ)	率先しよう	
99	2008.6. 15-18	ロサンゼルス (カリフォルニア州)	開催予定
	(テーマ)	ロータリーは分かちあいの心	
100	2009	バーミンガム (イギリス)	開催予定

あ

【アーチC.クランフ・ソサエティ】

(Arch C. Klumph Society)

ロータリー財団に対し累計25万米ドル以上の寄付者が、ソサエティのメンバーとなる。これはロータリー財団管理委員会が2004年10月、寄付者に感謝の意を示し、ロータリー財団の創始者の名前にちなみ、創設した。メンバーには感謝状が贈られ、その写真がRI世界本部内のアーチ・クランフ・ギャラリーに飾られる。

【RI会長】(RI President)

会長はRIの最高役員である。会長はRIの第1の代弁者であり、国際大会とRI理事会の会合を主宰し、事務総長の仕事を見守り、事務総長に助言し、その職責に属するその他の任務を行う。

【RI会長エレクト】(President-Elect, RI)

RI会長指名委員会から指名されたRI会長ノミニーがRI会長就任2年前の年度の国際大会で選挙された会長当選者のこと。選挙された歴年度の7月1日から会長就任までの1年間は会長エレクトとしてRI理事会メンバーを務める。

【RIの管理】(RI Administration)

RIの管理の基本原則は、加盟RCの大幅な自治である。管理に関する定款および手続き上の制約は、ロータリーの基本的かつ比類ない特色を保持する上で必要最小限にとどめられている。この範囲内で、特に各地域において、RIの方針を解釈、実施するに当たって最大限の柔軟性が認められている。

【RIのテーマ】(Rotary International Theme)

RI会長が就任に当たって掲げるその年度の重点目標あるいは指針をいう。このテーマはロータリー年度を通じて奉仕の実践に最も重要なものである。ターゲット(Target)と呼ばれたこともある。

【アクティング・ガバナー】

(Acting District Governor)

ガバナー職に欠員が生じた場合、RI細則に従って国際大会またはRI理事会が新ガバナーを選ぶまで、RI会長から地区ガバナーを代行するよう任命された人。

【委員会(クラブ)】(Committees of Club)

会長は理事会の承認の下に次の常任委員会(CLPに基づく)を設置しなければならない。

- ・ 会員増強委員会
- ・ 奉仕プロジェクト委員会
- ・ ロータリー財団委員会

・ クラブ広報委員会

・ クラブ管理運営委員会

各委員会は細則によって付託された職務および会長または理事会が付託した事項を処理する。理事会によって特別の権限を与えられた場合を除き、これらの委員会は、理事会に報告してその承認を得るまで行動してはならない。

【意義ある業績賞】

(The Significant Achievement Award)

このプログラムは、重要な問題またはニーズに取り組むクラブの活動を地区で表彰するための会長表彰プログラムである。

【移籍会員】(Transferred Member)

正会員は、移籍しようとしているロータリアンまたは元クラブ会員を正会員に推薦することができる。ただし、この元クラブ会員がかつて属していたクラブを退会しようとしている理由または退会した理由が、所属クラブの所在地域内で本人が分類されていた職業活動に従事しなくなったということではなければならない。また、元クラブによって推薦されることもできる。会員に選ぶかどうかはクラブの自主性に任されている。

【遺贈】(Bequest)

遺言状によってロータリー財団へ遺産贈与をすること。

【インターアクトクラブ】(IAC; Interact Clubs)

入会できるのは高校に在学中の生徒または年齢14歳から18歳までの若い人である。新しいインターアクトクラブの創立会員数は、最低15名となっている。

【エレクト】(Elect)

次期会長に指名されたRI会長ノミニーが、国際大会で代議員によって正式に選挙された時点から、会長に就任する時点までの間、会長エレクトという。ガバナーの場合は同様にガバナー・エレクトという。クラブ会長の場合も同様にクラブ会長エレクトという。

か

【会員推薦用紙と申込用紙】

Membership Proposal and Application Card

クラブ会員がクラブに新会員を推薦するとき用いるカード。氏名、事業所、自宅住所、職業分類、社名、地位、活動歴、推薦者氏名等を記入するようになっている。

1995~'96年度より会員推薦用紙と会員申込用紙が切り取り式の一枚用紙となった。

【会員選挙手続】Method of Electing Members

クラブ会員が適切な候補者を選び推薦する。事前に本人に漏らしてはならない。理事会は推薦状の提出後30

日以内に承認、不承認を決定し、クラブ幹事を通じて推薦者に通知する。承認の場合は、全会員に通知をする。7日以内に異議申立のなかった場合は承認となる。異議申立のあった場合は次の理事会において票決を行うものとする。

ロータリー情報委員会は新会員に適切な資料を提供し、クラブに溶け込めるよう援助する会員を1名指名し、最初の1年間新会員のオリエンテーションを担当する。

【会員増強】 Membership Development

会員増強は、3つの部分から成り立っている。新会員の勧誘、現会員の退会防止、および新クラブの結成（拡大）。

1人でも多くの適格者にクラブに入会したいという興味を与えるため、また、クラブ会員の減少を防ぐために、クラブは内部の拡大のために現行規定を十分かつ意図的に利用し、地元地域社会への奉仕を維持、改善し、個々の会員を効果的に参加させ、その関心を絶えず引き付けるような活動を行うべきである。

【会員の義務と特典】

Member's Obligation and Privilege

ロータリークラブは定款第14条に義務を厳しく明記している「会員は、入会金と会費を支払うことによって、綱領の中に示されたロータリーの原則を受諾し、本クラブの定款・細則に従い、その規定を遵守し、これに拘束されることを受諾するものとする。」とある。即ち「超私の奉仕」なのである。

◎義務

- ・ R I 定款・細則並びにロータリークラブ定款・細則を遵守すること。
- ・ 入会金・会費を支払うこと。
- ・ 例会に出席すること。
- ・ 新会員を推薦すること。
- ・ 委員会活動、その他ロータリープログラムに参加すること。
- ・ 雑誌「ザ・ロータリアン」または「ロータリーの友」の購読。等

これ等の義務を履行することによってのみ、会員としての特典が得られる。

◎特典

- ・ ロータリークラブの会員には本人が希望してもなれない。会員により推薦され、選挙されて初めて会員とされる。
- ・ 全世界に品性高潔な約122万（2007年9月現在、R I レポート）の友人を得ること。
- ・ 全世界のロータリークラブ例会、ロータリー会合に参加できること。
- ・ 奉仕活動に参加できること。
- ・ ロータリアンとしての絶大な信用。
- ・ ロータリアンとして適格な人を推薦することができる。等

【会員の資格条件】 Qualifications of Membership

ロータリークラブは善良な成人であって職業上良い世

評を受けている者によって構成されている。

- 一般に認められた有益な事業または専門職務の持主、共同経営者、法人役員、支配人、裁量権ある管理職、管理権ある支店代表者等実際に従事している者、事業場の裁量権のない会社員、公務員、教職員であってもロータリー財団学友、ならびに一般市民でも社会奉仕活動に携わっている者。
- そのクラブの存在地域内、もしくはクラブの存在する市の行政区域内、直接隣接するクラブの存在地域内、またはいずれのクラブの存在地域でない隣接地域に事業場が住居がなければならない。

【会員身分】 Membership in Clubs

R I 定款・細則に規定されている資格条件を備えた人から構成される。

ロータリークラブの会員身分はあくまで個人個人のものと考えられるべきであって、個々の会員が所属している共同企業体または法人のものではない。

【会員身分の終結】 Termination of Membership

次の場合、会員身分を終結させることができる。

- 正会員が職業分類を失うか、または事業場、住居が本クラブの存在地域外、存在する市の行政区域外、直接隣接クラブ地域外に移転したとき。
- 会費納入期限後30日まで不払いで、幹事の書面催告後10日以内に納入がない場合。
- 年度の各半期間にメイクアップを含む出席率が少なくとも50%に達していない場合。
ただし、ガバナー補佐についてはこの規定を免除する。
- 出席が年度の各半期間に開かれた所属クラブの例会総数の少なくとも30%に達していない場合。
- 連続4回例会に出席せず、またメイクアップもしていない場合。

【会員身分の制約】 Limitations on Membership

いかなるクラブも、R I 加盟年月日に関係なく、定款その他の規定によって、性別、人種、皮膚の色、信条または国籍に基づき会員身分を制約したり、R I 定款または細則に明白に規定されていない会員身分の条件を課することはできない。この規定に反するクラブ定款のいかなる規定も、または条件も無効で効力はない。

【カウンセラー】 Counselor

地区協議会とか、都市連合会（IM）等の会合において、会員の質問に回答を与える人。通常は、ガバナーがガバナー経験者、または有資格ロータリアンの中から指名する。

【ガバナー公式訪問】 Governor's Official Visit

地区内の各クラブの会長および幹事に対して毎月ガバナーから発送される親書的な公式文書で、出席報告を含む、特に関心の高い重要事項が記載されている。

【ガバナーの任務】 Duties of District Governor

- 新クラブの結成。
- 既存クラブの強化助成。
- 地区指導者およびクラブ会長と協力し、地区内各クラブのために現実的な会員増強目標を設定して、会員増強を推進すること。
- ガバナーの出席をできる限り効果的にするよう年度を通じ実施される個別のまたは数クラブ合同例会へ、公式訪問をする準備にあたる。
 - a ロータリーの主要問題に焦点を当て関心を持たせる。
 - b 弱体および問題のあるクラブに特別な関心を払う。
 - c ロータリアンの意欲をかきたて奉仕活動に参加させる。
 - d 地区大会において顕著な貢献をしたロータリアン個人を表彰する。その他。

【ガバナー補佐】 Assistant Governor

全地区は、地区レベルでの任務を遂行し、また担当するクラブの管理運営に関してガバナーを補佐する責任を負うために、ガバナーから任命されるロータリアンの役職名を「ガバナー補佐」とする。

【幹事（クラブ）】 Club Secretary

クラブ幹事は各クラブ細則の定めるところに従って選任され、会員の記録を整理保管し、会合における出席を記録し、クラブ、理事会および委員会の諸会合の通知を発送し、これらの会合の議事録を作ってこれを保管し、RIへの報告義務などに責任を持つ。

【幹事（地区）】 District Secretary

ガバナーは、就任前にロータリーに精通し、経験豊富なロータリアンの中から地区幹事を選定、任命する。地区会合の準備、適切な書簡処理、諸地区会合の議事録編集、諸種の記録保存等の日常の管理事務を行い、ガバナーに協力する。他に副幹事が数名任命される。

【冠名基金】 Named Fund

25,000ドル以上を恒久基金に寄付をすると、寄付者の名前をつけて、別個のユニットで運用する。収益をシェアと選択すれば、冠名基金の収益の50%がDDFとなる。管理委員会の裁量と選択すれば、収益は全額、国際財団活動資金として使われる。

【規定審議会】 Council on Legislation

規定審議会はRI定款第10条とRI細則第8条に定めるように国際ロータリーの立法機関である。審議会は、各地区のクラブ代表議員が出席するもので、地区大会、RI BI審議会または大会、規定審議会、RI理事会が提出した制定案と決議案を審議、決定するために3年に1度開かれる。立法を採択するに当たっての決定は、全クラブの再審議を経て、発効する。

【協議会】 Assembly

協議会には 1) クラブ協議会 2) 地区協議会 3) 国際協議会がある。

【クラブ会長の任務】 Duties

- クラブの諸会合の議長を務める。
- 各例会に当たって入念に立案し、開会および閉会の時間を厳守するよう配慮する。
- 定例理事会の議長を務める。
- 任務にふさわしい人をクラブ委員会委員長および委員に任命する。
- 各委員会はそれぞれ明確な目標をもち、かつそれぞれの働きが調和するようにする。
- 例年の会計検査はもちろん、クラブ予算の編成および会計事務の完全な履行を監督する。
- 1月にはロータリー年度第2半期の各委員会の活動とその目標の検討会を指導する。
- 6月にはクラブの財政状態および当該年度のクラブの目標達成状況について、総括的な報告をクラブに提出する。その他。

【クラブ会報】 Club Bulletin

毎週、週報として発刊。この主な目的は

- (1) 出席への関心を刺激して出席率を高める。
- (2) 例会報告をする。
- (3) 親睦を図る。
- (4) 会員のロータリー情報に寄与する。
- (5) 次の例会のプログラムを載せる。
- (6) クラブの記録資料として保存する。
- (7) RIの情報などを載せること。

【クラブ協議会】 Club Assemblies

クラブのプログラムおよび活動について協議する目的で開かれる、クラブ役員、理事および委員長全員の会合。

【クラブ・フォーラム】 Club Forum

奉仕活動について会員に情報を伝達することを目的とする全クラブ会員の公式会合。

【クラブ奉仕】 Club Service

ロータリーの第1奉仕部門。ロータリアンが、クラブを円滑に機能させるために、クラブ内で講じる措置に関するもの。

【クラブ役員】 Club Officers

正式に選挙されたクラブ役員は会長、会長エレクト、1名または数名の副会長（以上的人是全員、理事会のメンバーとする）、さらに幹事、会計、会場監督は、クラブ細則の定めるところに従って、その全員または一部が理事会のメンバーであってもなくてもよい。

【決議23-34】 Resolution 23-34

RIの社会奉仕に対する方針の声明で、1923年セントルイス大会で、決議34号として採択され、その後の大会で改定されたものである。

【公職者】 Public Officer

ロータリーでいう公職者とは、一定の任期を限って選挙または任命によって公職にある者のこと。その公職を示す職業分類では正会員となることはできない。しかし、その選挙または任命の直前にそのクラブで貸与されていた職業分類の下で、引き続き公職にある期間中も会員資格を保持することができる。

【広報委員会】 Public Relations Committee

ロータリーの歴史、綱領および規模を一般に知らせる宣伝方法を考案し、実施することを任務とする。会員の中の新聞関係者や放送関係者の協力を得て十分なロータリーの広報に努めなければならない。

【国際大会】 Convention

国際ロータリーの年次大会。国際大会の主たる目的は、国際レベルにおいて、ロータリアンを鼓舞し、かつ、情報を与えることである。世界中から集まったクラブ代議員が、会長やRI理事を含む、来るロータリー年度のRI役員を選挙する。

さ

【細則】 By Laws

定款を補足する追加規定である。

理事・役員の選挙・理事会・役員の任務・会合・入会金および会費・採決方法・委員会の任務・出席義務規定の免除・財務・会員選挙の方法・決議・議事の順序・改正などを定めている。会運営の基本が示してある。細則の改正は理事会で審議した後、予定した会議の日の10日前までに全員に内容を通知し、会議で全員の3分の1以上が出席し、出席者の3分の2以上の賛成で改正できる。

【財団への寄付】 Contributions to the Foundation

次の三つの基金に寄付することができる。

1. 年次プログラム基金

年次プログラム用の寄付金を入れておくもので、元金で財団の奨学金や補助金を支払う。寄付金は、寄付の約3年後に使われる。収益基金は、この3年間の寄付収益を入れておくもので、プログラムの運営、寄付増進、一般運営費に充てる。

2. 恒久基金

収益だけを財団プログラムの支援に使う基金である。その目標は、財団への毎年の支援を補い、それによって少なくともある程度のプログラム活動を行い、また、将来における人類の緊急のニーズに応える新プログラムまたはプログラムの拡張を容易にしようと

するものである。ベネファクターになることは、恒久基金支援の第1歩と言える。

3. ポリオ・プラス基金

ポリオ・プラス・プログラムとその目標を支援して授与される補助金すべてを支払うものである。

【3-Hプログラム】

Health, Hunger, and Humanity Program

保健、飢餓追放および人間性尊重補助金のこと

【使途指定寄付】 Restricted Giving

財団への寄付は、金額を問わず、財団プログラムを指定して寄付することができる。このような寄付はいつでもポール・ハリス・フェローに活用できる。しかしクラブ表彰の対象と、地区のシェア・システムの対象にはならない。

【社会奉仕】 Community Service

ロータリーの第3奉仕部門。クラブの地域または行政区域内に居住する人々の生活の質を向上させるために、時には、他団体（例えば、ローターアクトクラブ、インターアクトクラブ、ロータリー地域社会共同隊）と提携して、ロータリアンが行う各種活動。

【出席免除】 Excused Absence

次のような場合、出席規定の適用は免除されるものとする。

- 一つまたはいくつかのRCのロータリー歴と会員の年齢の合計が85年以上であること。さらに出席規定の適用を免除されたい希望を、書面をもって、クラブ幹事に通告し、理事会が承認した場合。
- RI役員欠席。会員が現役のRI役員である場合、その会員に対する出席規定の適用は免除されるものとする。
- a) b) に該当するいかなる会員の欠席も、本クラブの出席率の算出に使う会員数に含まれない。その欠席も出席も出席率の算出に使わない。

【職業分類】 Classifications

地域社会に貢献する別個の明確な事業または専門職務活動を表示する字句。用語としては正会員の所属する商社、会社または団体の主要かつ一般世間がそのように認めている活動が、あるいは、正会員の主要かつまた一般世間がそのように認めている活動を最も正確に表示する字句である。新たに、ロータリー財団学友や地域社会での奉仕活動をする裁量権のない一般市民も正会員になることが可能となった。

【職業奉仕】 Vocational Service

ロータリーの第2奉仕部門。その目的には、事業および専門職務の道徳的水準を高め、あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理想を生かしていくことが含まれる。

クラブの役割としては、クラブ会員の手腕を生かして、社会のニーズに応えられるようなプロジェクトを開発することが含まれる。また、ロータリーの原則に沿って自らと自分の職業を律し、併せてクラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれる。

【職業奉仕月間】 Vocation Service Month

R I 理事会は、クラブだけではなく、各ロータリアンも、職業奉仕の理想を日常実践するように強調するために、毎年10月を特に職業奉仕に重点を置いたプログラムを行う。

【新クラブの結成】 Organization of New Clubs

新クラブの結成はロータリーの発展には不可欠である。新クラブの結成が期待されるとき、地区ガバナーは「拡大調査報告書」と「ロータリークラブの設立に関する合意書」に記入、署名のうえ事務総長に提出しなければならない。地区ガバナー自ら、または主としてスポンサークラブから特別代表を任命して結成の任に当たらせる。新クラブは一定の所在地域を有し、その地域内に最低40の職業分類が必要である。会員は職業分類制のもと創立時は最小限20名で、さまざまな分野から得られることが望ましい。50名以下のクラブでは同一職業分類に5名まで、51名以上のクラブではクラブ正会員数の10%まで認められることになった。また、性別によって会員身分を制約することはできない。新クラブのスポンサークラブは会員数25名以上でなければならない。

【新世代のための月間】 New Generations Month

年齢30歳までの若い人の育成を支援するすべてのロータリー活動に焦点を当てるために、9月は「新世代のための月間」に指定されている。

【人道的プログラム】 Humanitarian Program

ロータリー財団の3大プログラムの一つ。

- マッチング・グラント
- 地区補助金
- 個人向け補助金
- 3-H補助金

【スマイル・ボックス】 Smile Box

例会場で会員が自由意思で善意の寄付金を入れる箱。ロータリー特有のもので、集まったお金は主として奉仕活動資金に使われる。ニコニコ箱とも呼ばれる。

【正会員】 Active Member

職業分類の下にクラブ会員として選ばれ、R I 定款・細則に定められた会員としてのすべての義務、責任および特典を有するクラブ会員。

【青少年奉仕】 Youth Service

「善良で健全な市民を育てる」青少年奉仕活動が討議。青少年交換、奨学生、インターアクト、ローターアクト、ロータリー青少年指導者養成プログラム、職業相談指導、ロータリー地域共同隊、ロータリー地域社会共同隊、身

体障害者の援助、各種野外活動などを通じて才能と熱意を呼び起こし、奉仕と責任感を育てることを目的とする。

【世界社会奉仕】 World Community Service (WCS)

国際奉仕の一分野で、国際レベルで地域社会開発と親善を推進する。ロータリアンは、WCSを通じて、物質的、技術的、専門的援助を提供することによって、生活を改善し、人類のニーズに応え、国際理解を推進するために、プロジェクトを実施する。クラブがWCSに参加する方法はいくつかあり、その中には、WCSプロジェクト交換、クラブ対クラブの相互交流、災害援助が含まれる。

【ゾーン】 Zone

R I 会長指名委員とR I 理事指名委員を選挙するために、R I 細則が定め、R I 理事会が編成したクラブ集団。ゾーンはまた研究会開催の基盤ともなる。

た

【地区】 District

R I の管理の便宜上まとめられた一群のクラブの所在する、一定の地理的領域の名称である。

【地区幹事】 District Secretary

ガバナーは、その就任前に地区幹事を選定するよう奨励されている。地区幹事は、ロータリーに精通しかつ地区会合の経験も豊富なロータリアンで、地区会合の準備、適切な書簡処理、諸地区会合の議事録の編集、諸種の記録保存等の日常の管理事務の面でガバナーを補佐できる者でなければならない。ただし同一人を通算5年を超えて地区幹事に任命してはならない。

【地区協議会】 District Assembly

地区協議会の研修会合は、毎年、4月または5月に実施することが望ましく、参加者は、クラブ会長エレクトおよび次ロータリー年度に指導的役割を果たすよう会長エレクトから任命されたロータリークラブ会員とする。この会合は、R I 理事会が定めたクラブの効果を高めるために必要な技能、知識および意欲を持つクラブ指導者を育成する指導プログラムおよび地域や地区の計画と目標を分かち合う機会を提供するものである。

【地区資金】 District Funds

各地区は、「地区資金」という基金を設けて差し支えない。その目的は、地区提唱プロジェクトおよび地区内におけるロータリーの管理・開発の資金を調達することである。

【地区大会】 District Conference

交歓と、感銘深い講演と、クラブおよび地区の業務に関する事項の討議とによって、ロータリーのプログラムを推進するために、毎年、各地区で開かれる会合。地区内の全ロータリアンとその家族が出席できる。

【地区補助金】 District Simplified Grants) (DSG)

ロータリー財団の人的プログラムの一つ。社会奉仕に関連のある財団補助金。

【定款】 Constitution

ロータリー組織の基礎となるR I 定款、およびその加盟クラブ組織の基礎となるクラブ定款。すべての加盟クラブは、この定款に抵触しないクラブ定款を採用しなければならない。

【定足数】 Quorums

ロータリーにおいて決議を要する会議を成立させるに必要な出席会員または議員・委員数。

- ・クラブ年次総会、および決議を要する例会の定足数は会員総数3分の1。
- ・クラブ理事会の定足数は理事会メンバーの過半数。
- ・国際大会の定足数は加盟クラブ総数の10分の1を代表する代議員および委任状による代理者。
- ・規定審議会の定足数は投票権を有する審議会議員の2分の1。
- ・R I 理事会の定足数は理事会メンバーの過半数。
- ・R I 会長使命委員会の定足数は12名。
- ・R I 委員会の定足数は委員総数の過半数。
- ・財団管理委員会の定足数は管理委員会総数の過半数。

【手続要覧】 Manual of Procedure

R I に関する基本的事項を解説した方針や手続に関する参考書。本書は、R I 加盟全クラブの実験の経験に基づいたもので、3年ごとに開かれる規定審議会後に改訂される。

【道徳律】 Code of Ethics

ロータリー道徳律は1915年7月、サンフランシスコの第6回大会で採択され、職業人としての実践道徳の指針とされていたが、全世界の有用性に関し意見の一致を欠くとの理由でR I は1927年に改訂、1928年は綱領に重きをおくことに改め1951年、理事会は配布はするものの、手続要覧に掲載中止、1977年規定審議会では道徳律に代わるべき適当な文章を検討するとした。1980年規定審議会では道徳律に関するR I 細則は削除されその後、その時の決議に基づく代案が1989年のシンガポールでの規定審議会に出された「職業宣言」である。

な

【入会金】 Admission Fee

クラブ入会申込者がクラブに支払う料金。料金の額は、各クラブがその細則に規定するところによって決める。

【入会の意義】 Significance of Membership

ロータリークラブには入会したいと思って直ぐに入会できるものではない。会員の誰かが推薦し、会員選挙

の手続きを経て、更にクラブ細則に従い会員の同意が必要である。このようにして入会が認められたということは、クラブが真にあなたを必要とし、あなたもそれを承諾したからである。その理由は、

・ロータリーが理想とする奉仕の精神をあなたの業界に広めて頂くのに、クラブはあなたを最適任者と認めたのである。

・クラブの全会員はあなたの職業的、社会的品行を高く評価し、あなたとの親交を深めることを希望し、それによって自分の知らない知識を得ることができ、ひいては社会奉仕を更に広め、お互いの人間性も向上していきたいと願っているということである。

【認証ポイント】 Recognition Point

ロータリー財団は、常に寄付を増やそうと工夫している。その一つが認証ポイントである。

財団理解のために、自分が1,000ドル以上を寄付した場合に与えられる権利で、相手を指名してポイントのみを与えることができる。

【年次寄付】 (一般寄付) (財団の)

Annual Giving (General Giving) (T R F)

財団に毎年行う使途を指定しない一般寄付のこと。

は

【パスト・ガバナー】 Past Governor (P G)

各地区は、元ガバナーから成る諮問委員会を設置するものとする。この諮問委員会は、地区内の現RC会員である元ガバナー全員によって構成される。

【ビジター】 Visitor

他クラブからメークアップに来たロータリアンのことをビジターという。クラブまたはロータリアンに招待された場合を除き、来訪ロータリアンは、クラブで行われている慣行に従い食事券を自分で買うものとする。

【奉仕の四大部門】 Four Avenues of Service

クラブ奉仕、社会奉仕、および国際奉仕を指す用語(各項を参照のこと)。

【奉仕の理想】 Ideal of Service

ロータリーの綱領の中にあるIdeal of Serviceの直訳語で、ロータリーでよく用いられる言葉。己に天職という使命を与えてくれた社会、また己の職業を生きし続けさせてもらっている社会に感謝するとき、その仕方(奉仕)の基本として個人生活、社会生活、職業生活において利己的欲求は最小限にとどめ、常に最大利他の究極を求め続けて行こうとするロータリーの奉仕哲学である。ロータリーの第1標語「超我の奉仕」の哲学でもある。

【ポリオ・プラス】 Polio Plus

世界中の児童にポリオの予防接種をしようというプロ

グラムである。ポリオと共にハシカ、ジフテリア、結核、百日咳、破傷風の五つをプラスして、同時追放を目的としているためポリオ・プラスと呼んでいたが、この「プラス」は最初の頃と意味が変わって現在は、世界的なポリオ撲滅運動がもたらした遺産のことを指している。

ま

【名誉会員】Honorary Member

ロータリーの理想推進のために称賛に値する奉仕をした人を、クラブの名誉会員に選んできた。名誉会員は、入会金および会費の納入を免除されるが、投票権を持たない。クラブのいかなる役職にもつくことができない。しかし、クラブのあらゆる会合に出席することができ、クラブの特典を享受することができる。かかる会員の身分の存続期間は、クラブ理事会が決めるものである。

【メイクアップ】Make-up

欠席の前2週間または後2週間以内に別のRCの例会か他の所定の会合に出席すれば、自己の会員身分を守り、出席のクレジットを受けることができる。

【メモリアル・コントリビューター】

Memorial Contributor

亡くなった人を記念して、金額を問わず寄付した個人またはクラブである。この証書は故人あるいは寄付をした個人またはクラブの名前で発行される。

【最もよく奉仕する者、最も多く報いられる】

He Profits Most Who Serves Best

ロータリーの資料その他に用いられる標語で、A. F. シェルドンの創作に成るものである。情けは人のためならず、と同義である。1989年度の規定審議会で、サブの公式テーマとされたが、職業奉仕の根幹をなす標語として重用されなければならない。

【米山梅吉】Umekichi Yoneyama

1920年世界855番目のロータリークラブ（東京RC）を創立し、日本に初めてロータリーを導入した。東京RCの初代会長に就任し、1924年にはRIのスペシャル・コミッショナーになり、日本のロータリーの発展の基礎を築いた偉大な人である。

静岡県駿東郡長泉町上土狩（新幹線三島駅より1.8Km）に、(財)米山梅吉記念館があり、その近くに墓所がある。

ら

【ローターアクター】Rotaractor (RA)

ローターアクトクラブの会員。年齢18歳～30歳の青年男女。

【ロータリー】Rotary

ロータリーはRCとロータリアンによって構成される

組織、「人道的な奉仕を行い、あらゆる職業において高度の道徳的水準を守ることを奨励し、かつ世界における親善と平和の確立に寄与することを目指した、事業および専門職務に携わる指導者が世界的に結び合った団体である」と正式に定義されている。

【ロータリー財団】The Rotary Foundation (TRF)

アーチC. クランフが「全世界的な規模で慈善・教育・その他社会奉仕の分野でよりよきことをするために基金をつくろう」と提案したことに始まった。

ロータリー財団を構成する法人会員はRIのみである。

「ロータリー財団の使命は、地域レベル、全国レベル、国際レベルの人道的、教育的、文化交流プログラムを通じてロータリーの綱領とロータリーの使命を遂行し、かつ世界理解と平和を達成しようとするRIの努力を支援すること」と決定され、RI理事会も承認した。

ロータリー財団の使命である国際的活動に新しく、地域レベル、全国レベルの活動を加えることによってロータリー財団活動の基盤と範囲がさらに広がることとなった。

【ロータリー章典】Code of Policies, Rotary

国際ロータリーの一般のおよび永続的な方針のすべてが含まれた総括的な文章。

【ロータリー情報】Rotary Information

- 1) ロータリーの綱領、原則および発展と四大奉仕部門に関する会員の理解をはぐくむこと。
- 2) ロータリアン一人ひとりがロータリーの理想に自ら献身し奉仕することにより責任感と理解を養うこと。

【ロータリー情報委員会】Rotary Information Committee

クラブのロータリー情報委員会は、全会員、特に新会員が、ロータリーを十分理解し、ロータリー会員の特典と責務を把握できるよう援助することに力を注がなければならない。

【ロータリー親睦活動】Rotary Fellowship (RF)

ロータリー趣味・職業別親睦活動。有意義なレクリエーション活動に共通の関心を持つロータリアンまたは同一の事業、専門職務または職業分野のロータリアン、または各種の保健や医療問題に共通の関心を持つロータリアンは、国際親睦と奉仕活動を増進するため、親睦グループに参加するよう奨励されている。

【ロータリーの定義】A Definition of Rotary

ロータリーは、人道的な奉仕を行い、あらゆる職業において高度の道徳的水準を守ることを奨励し、かつ世界における親善と平和の確立に寄与することを目指した事業および専門職務に携わる指導者が、世界的に結び合った団体である。

略語集

APF (Annual Program Fund)
年次プログラム基金

CAP (Community Assistance Program)
地域社会援助プログラム

CLP (Club Leadership Plan)
クラブ・リーダーシップ・プラン

DAF (Donor Advised Fund)
使途推奨冠名基金

DDF (District Designated Fund)
地区財団活動資金

DG (District Governor)
ガバナー (Gと表示する場合もある)

DLP (District Leadership Plan)
地区リーダーシップ・プラン

DRFC (District Rotary Foundation Committee)
地区ロータリー財団委員会

DSG (District Simplified Grants)
地区補助金

GSE (Group Study Exchange)
研究グループ交換

IAC (Interact Clubs)
インターアクトクラブ

IGF (Intercity General Forum)
都市連合一般討論会

IM (Intercity Meeting)
都市連合会

IPPC (International Polio Plus Committee)
インターナショナル・ポリオ・プラス委員会

MCR (Monthly Contribution Report)
月次寄付報告

PETS (Presidents-Elect Training Seminar)
会長エレクト研修セミナー

PF (Permanent Fund)
恒久基金

PG (Past Governor)
バスト・ガバナー、元地区ガバナー (PDGと表示する場合もある)

PHF (Paul Harris Fellow)
ポール・ハリス・フェロー

PP (Polio Plus)
ポリオ・プラス

PPE (Preserve Planet Earth)
われらの天体、地球の保全

PPP (Polio Plus Partners)
ポリオ・プラス・パートナー

RAC (Rotaract Clubs)
ローターアクトクラブ

RC (Rotary Club)
ロータリークラブ

RCC (Rotary Community Corps)
ロータリー地域社会共同隊

RF (Rotary Fellowship)
ロータリー親睦活動

RI (Rotary International)
国際ロータリー

RRVF (Rotary Recreational and Vocational Fellowship)
趣味・職業別親睦活動

RYLA (Rotary Youth Leadership Awards)
ロータリー青少年指導者養成プログラム

SAA (Sergeant at Arms)
会場監督

TRF (The Rotary Foundation)
ロータリー財団

WCS (World Community Service)
世界社会奉仕

WF (World Fund)
国際財団活動資金

WFC (World Food Council)
世界食料評議会

「ロータリー用語便覧」 大西省司
(福知山西南RC)

ロータリー知識クイズ50

●正しいものに○、間違いに×を記入してください●

- ☐ 1. ロータリーの創設は1905年である。
- ☐ 2. ロータリー創始者の一人ポール・ハリス氏は、弁護士である。
- ☐ 3. 全世界のロータリアン総数は、約122万人以上である。
- ☐ 4. 世界のロータリアンが100万人に達したのは1986年である。
- ☐ 5. 全世界のクラブ数は約3万2千以上のクラブである。
- ☐ 6. ロータリーができて最初の奉仕プロジェクトは、シカゴ市内の公衆便所設置であった。
- ☐ 7. 4大奉仕部門とは、クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕である。
- ☐ 8. 日本のロータリーの創始者は、米山梅吉氏である。
- ☐ 9. 日本の初のクラブは、東京に設立され、世界で855番目のクラブでした。
- ☐ 10. 1,000ドルをロータリー財団に寄付したら、ポール・ハリス・フェローになれる。
- ☐ 11. ロータリー財団の恒久基金は、奉仕活動の資金として使われる。
- ☐ 12. ロータリー財団の国際奉仕プログラムは、人道的・教育的・文化的活動である。
- ☐ 13. 米山奨学会は、米山梅吉氏の功績を記念する意味で「米山基金」と名付けて始まった。(1953年 昭和28年)
- ☐ 14. 米山奨学会の寄付金は、すべて奨学生のために使われる。
- ☐ 15. ロータリー財団月間は11月である。
- ☐ 16. ポリオ・プラスとは、小児マヒと共にハシカ・ジフテリア・結核・百日咳・破傷風の5つの主要伝染病を含める。
- ☐ 17. 新世代のための月間は、9月である。
- ☐ 18. ローターアクト・インターアクト委員会は、新世代委員会とは別である。
- ☐ 19. RYLAとは、14～30歳までの青少年指導者養成プログラムである。
- ☐ 20. ローターアクトクラブの会員の年齢は18～30歳である。
- ☐ 21. 青少年への奉仕に関するロータリーの標語は「各ロータリアンは青少年の模範」である。
- ☐ 22. 1935年(S.10年)には日本はR I 第70地区で22RCであった。
- ☐ 23. ロータリー史上、日本人で最初にロータリアンになったのは福島喜三次氏である。
- ☐ 24. 日本のロータリアンの数は世界で2番目に多い。
- ☐ 25. 日本のロータリアンは「ロータリーの友」または「The Rotarian」のどちらかを講読する義務がある。

26. 「ロータリーの友」誌は毎月14万部発行されている。
27. 前年度ポリオ撲滅キャンペーンの募金は目標の8,000万ドルを大きく上回り8,800万ドルであった。日本は667万ドルでした。
28. 2003～2004年度におけるRIの人頭分担金は35ドルである。
29. 国際ロータリーの理事定数は17名である。
30. 2004年の国際大会は日本（関西）で開かれたが、参加登録は4万人以上であった。
31. ロータリー理解推進月間は1月である。
32. ロータリーの国際大会は、4年に1度国を変えて行われる。
33. 国際大会が日本の大阪で開かれたのは、今回が初めてである。
34. ロータリー財団はポール・ハリス氏が設立した。
35. ポール・ハリスは1945年（S20年）初めて日本を訪問した。
36. アジアにおいて最初にRCが設立されたのは日本の東京RCである。
37. ロータリー史上、東洋人で最初に国際ロータリーの会長に就任したのはフィリピンの人である。
38. 日本で国際ロータリーの会長になった人は1人である。
39. 日本語は国際ロータリーの公式用語ではない。
40. 世界中どこのクラブも例会時間は1時間と決まっている。
41. 出席のメイクアップは、地区以外ではできない。
42. 世界で会員数の最も多いRCの会員数は1,000名。
43. ロータリーは、1度退会すると2度と入会できない。
44. 自分の年齢とロータリー歴の合計が、85歳以上で休会が認められる。
45. ロータリアンは国際ロータリーの会員である。
46. 地区ガバナーは国際ロータリーの役員でない。
47. IMは地区の協議会機関で、重要な問題を決議する。
48. 新クラブ結成の際、創立会員は最低10名必要。
49. 規定審議会は毎年開かれている。
50. 「四つのテスト」はロータリーの中だけで使用されるものである。

正

点

誤

点

No.1～31…○, No.32～50…×

【以下、No.32～50についての解答】

32. 毎年開催される

33. 3回

34. アーチ・クランプ会長（6人目）が「基金」を設立し（1917年）、1928年に「ロータリー財団」と名付けられた。

35. 初来日は1935年

36. フィリピン・マニラRC

37. インド

38. 2人 ● 東ヶ崎 潔 氏（1968～69年度）
テーマ 「参加し敢行しよう！」 [Participate !]

● 向笠 広次 氏（1982～83年度）
テーマ 「人類はひとつ、世界中に友情の橋をかけよう」
[Mankinds is One, Build Bridges of Friendship
Throughout the World]

39. 公式用語である

40. 決まっていない

41. できる

42. 約600名のクラブがある

43. できる

44. 休会ではなく、出席免除が認められる

45. ない

46. 役員である

47. 決議しない

48. 20名（これまでは25名だったが、2004年規定審議会で20名となった）

49. 3年毎

50. 職業奉仕にふさわしい短い職業倫理訓として、ロータリアンでない人達、競争業者にも、この「四つのテスト」をすべての取引の指針とするよう勧めている。学校の日常生活や活動の中に導入しているところもある。

編集後記

この度は、「今さら人に聞けないロータリー情報マニュアル」をご利用くださいます。
ましてありがとうございます。

私達ロータリー情報マニュアル編集委員がロータリー情報経験を踏まえて、試行錯誤しながらの改訂版発行となりました。

入会から5年以内の会員向けに簡単で読みやすく作成しました。私達のロータリー情報知識のお裾分けです。どうぞ「ロータリーを知る」糧として活用し、ロータリー情報の知識を自分のものにしてください。

また、もっと詳しく知りたい方は『改訂版 ロータリー情報マニュアル』（限定版）（2007. 8. 20発行 A5判 2,000円 当編集委員発行のマニュアル誌）をご活用ください。

ロータリー情報マニュアル
瀏上勝夫（勝山RC）

参考文献

- | | |
|--|---|
| ・ RI（日本語版）： http://www.rotary.org/ja/Pages/ridefault.aspx | ・ 手続要覧 |
| ・ ロータリージャパン（ロータリーの友）： http://www.rotary.or.jp/ | ・ 奉仕の一世紀
デイビッドC. フォワード著/日本語監修 菅野多利雄 |
| ・ ロータリー章典： http://www.rotary.org/RIdocuments/ja_pdf/code_ja.pdf | ・ ロータリーアンの手引き |
| ・ ロータリー文庫： http://www.rotary-bunko.gr.jp/ | ・ ロータリー入門 平島健次郎著 |
| ・ (財)ロータリー米山記念奨学会： http://www.rotary-yoneyama.or.jp/ | ・ RI日本研修強化委員会 ロータリアン必携編 |
| ・ ロータリーの源流： http://www1.odn.ne.jp/~caz52570/
RI2680地区 田中 毅PDG | ・ ロータリー文庫資料室 |
| ・ ロータリー用語便覧： http://www18.ocn.ne.jp/~onc/rotary/
福知山西南RC 大西省司 著 | ・ 改訂版「ロータリー情報マニュアル」
カット漫画…相模原中RC 市村 章氏 |

編集協力者

福知山西南ロータリークラブ	大西省司	敦賀ロータリークラブ	刀根 莊兵衛
京都南ロータリークラブ	西村 信行	勝山ロータリークラブ	瀏上勝夫
大和高田ロータリークラブ	杉田 博		
京都ロータリークラブ	高橋 裕夫	米山記念奨学会広報・企画	峯 純子氏

今さら人に聞けない ロータリー情報マニュアル（第5版）

2008年（平成20年）1月発行

編集・発行 RI第2650地区 ガバナー事務所
ロータリー情報マニュアル

ご注文について…

住所・氏名・電話番号・所属クラブ名を明記の上、FAXにてお申し込みください。

なお、代金・送料は後払いとします。

価格 350円／1冊（送料別）より承ります。

お申し込み先：ロータリー情報マニュアル 瀏上勝夫（勝山RC）
〒911-0804 福井県勝山市元町1丁目7-21 有限会社 ふちがみ内
TEL 0779-88-0633・FAX 0779-87-2560・携帯 090-1312-0633

ロータリー標章の使用と保護



ロータリー・インターナショナル



クラブ奉仕



社会奉仕



職業奉仕



国際奉仕



ロータリー財団



ロータリー財団



米山記念奨学会



ポール・ハリス



ロータリー・ポリオ・プラス



ローターアクト



インターアクト



ライラ



WCS
世界社会奉仕



ロータリー友情交換



RCC
ロータリー地域社会共同体



年次プログラム基金



恒久基金



ロータリー親睦活動



PPE
環境保全



RV
ロータリーボランティア



3H



RYE
青少年交換



ROTARY INFORMATION

「努力すれば、それだけロータリー
から得るものがあるでしょう」

ロータリーの創始者、
ポールP・ハリス